

第8回男女平等参画に関する基礎調査

(調査結果速報)

平成 26 年 11 月
名古屋市



1 調査の概要

(1) 調査の趣旨	2
(2) 調査の項目	2
(3) 調査の設計	2
(4) 回収状況	2
(5) 速報版の読み方について	2

2 調査結果

I 男女平等意識や家族等について

問1 男女の地位の平等感について	3
問2 性別役割分業意識について	11
問3 選択的夫婦別氏制について	12

II 地域での活動について

問4 近隣の方との関わりについて	13
問5 地域活動への参加経験について	14
問6 参加してみたい地域活動について	15
問7 家庭・地域活動の評価について	16
問8 地域における子育て支援について	18
問9 災害時の避難所運営について	19

III 労働について

問10 女性が職業を持つことについて	20
問11 仕事や家事などに要する時間について	21
問12 就労状態と就業意欲について	25
問13 仕事と生活の理想と現実について	27
問14 仕事と家庭生活の関係について	28
問15 職場での制度の有無と利用しやすさについて	30
問16 育児休業の取得について	31
問17 介護休業の取得について	31
問18 職場における女性に対する不当な扱いについて	32
問19 生活の満足度について	33

IV 人権に関わる問題について

問20 DVなどの被害経験について	34
問21 配偶者や交際相手からの暴力について	36
問22 セクシュアル・ハラスメントについて	36
問23 DV被害などを受けた場合の相談先について	37
問24 言葉の認知度について	38

3 調査票

協力をお願い	44
調査票	45

1 調査の概要

(1) 調査の趣旨

男女平等参画推進なごや条例第 19 条に基づき、市民の男女平等参画に関する意識や実態を把握するために概ね 5 年ごとに実施しており、経年変化を調査するとともに、今後の男女平等に関する施策の基礎資料とするもの。

(2) 調査の項目

- I 男女平等参画意識および家族について
- II 地域活動について
- III 労働について
- IV 人権に関わる問題について

(3) 調査の設計

- ア 調査地域 名古屋市内 16 区
- イ 調査対象 市内に在住する満 20 歳以上の方
- ウ 対象者数 4,000 人（女性 2,000 人、男性 2,000 人）
- エ 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- オ 調査期間 平成 26 年 8 月 30 日（土）～9 月 19 日（金）の 21 日間
- カ 調査方法 郵送による配布・回収
- キ 調査主体 名古屋市 総務局総合調整部 男女平等参画推進室
（調査項目の設計 第 8 回男女平等参画基礎調査研究会）

(4) 回収状況

- 【回収数】 1,551 人
- 【回収率】 38.8%
- 【有効回収数】 1,519 人 （白票、性別年齢いずれかが不明のものを除く）
- 【有効回収率】 38.0%

(5) 速報版の読み方について

本速報中の図表、また文は次のように表記している。

- ・ n は回答者数を示す。
- ・ 複数回答の比率の合計は 100%を超える。
- ・ 図中の選択肢は、調査票に記載の選択肢が長い場合省略してある。

2 調査結果

I 男女平等意識や家族等について

問1 あなたは、次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。

(1) 家庭生活

➤「平等」

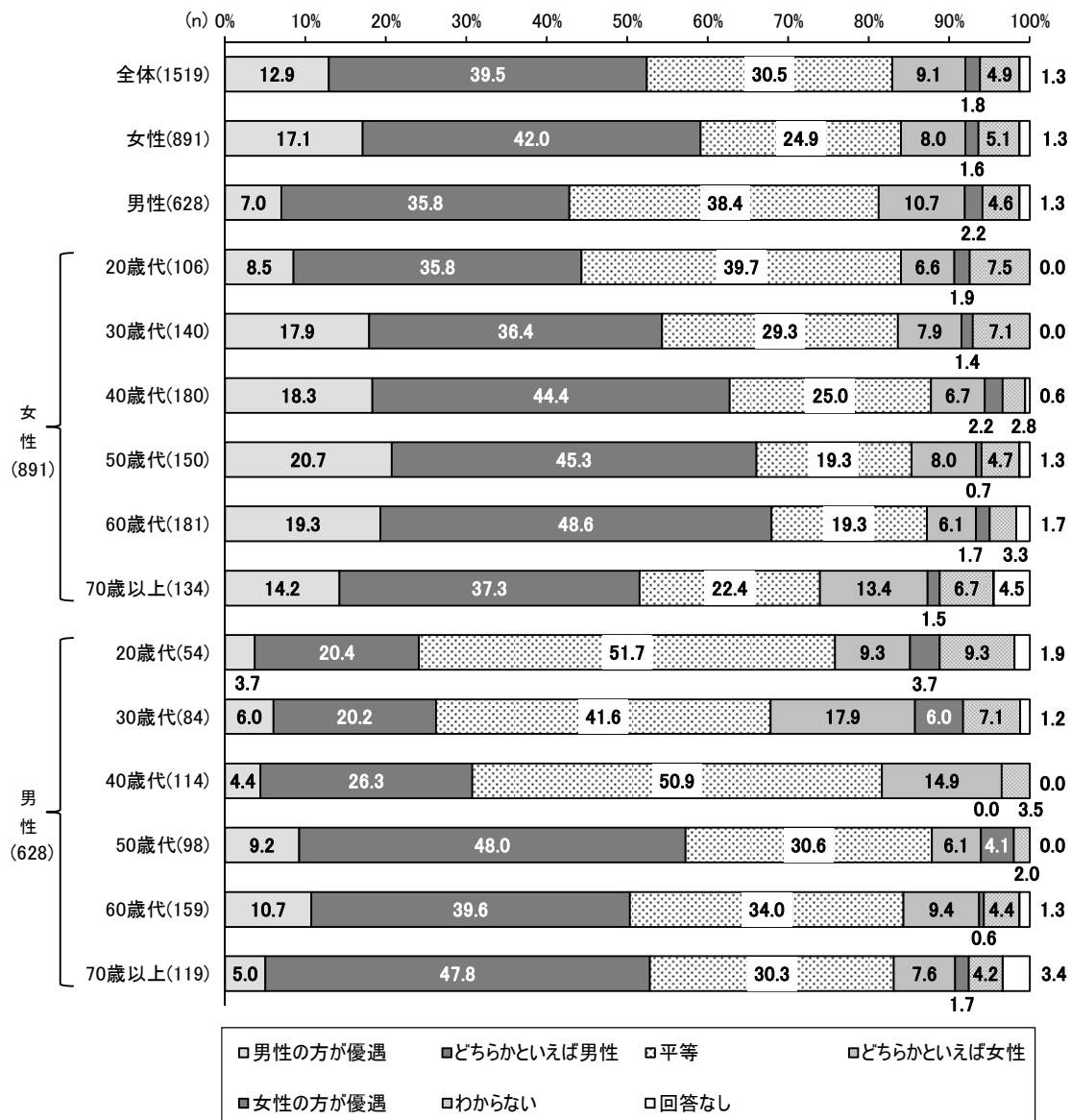
全体 30.5% (女性 24.9% 男性 38.4%)

➤「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」

全体 52.4% (女性 59.1% 男性 42.8%)

➤「女性の方が優遇されている」または「どちらかといえば女性の方が優遇されている」

全体 10.9% (女性 9.6% 男性 12.9%)



(2) 職場

➤「平等」

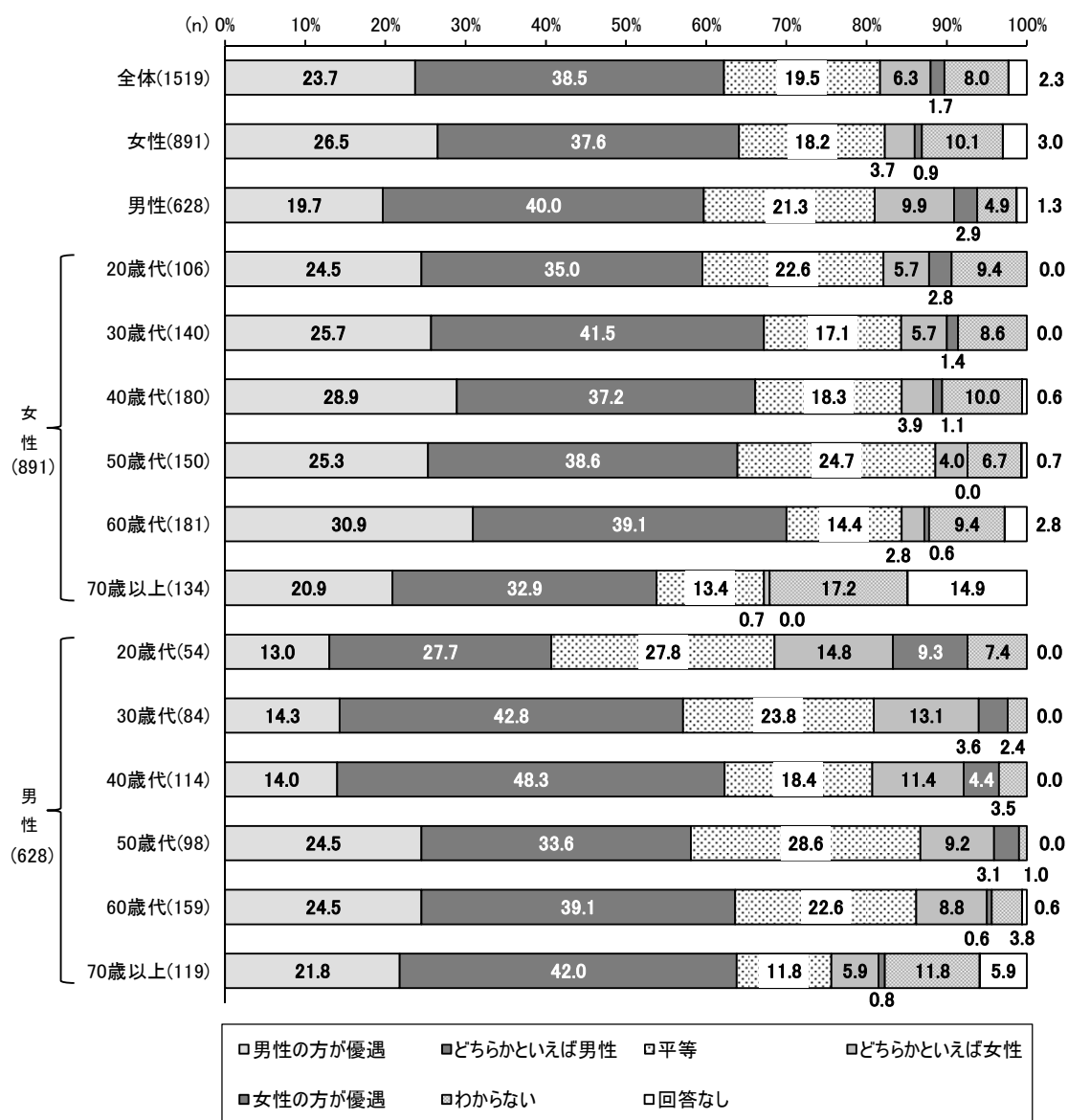
全体 19.5% (女性 18.2% 男性 21.3%)

➤「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」

全体 62.2% (女性 64.1% 男性 59.7%)

➤「女性の方が優遇されている」または「どちらかといえば女性の方が優遇されている」

全体 8.0% (女性 4.6% 男性 12.8%)



(3) 学校教育の場

➤「平等」

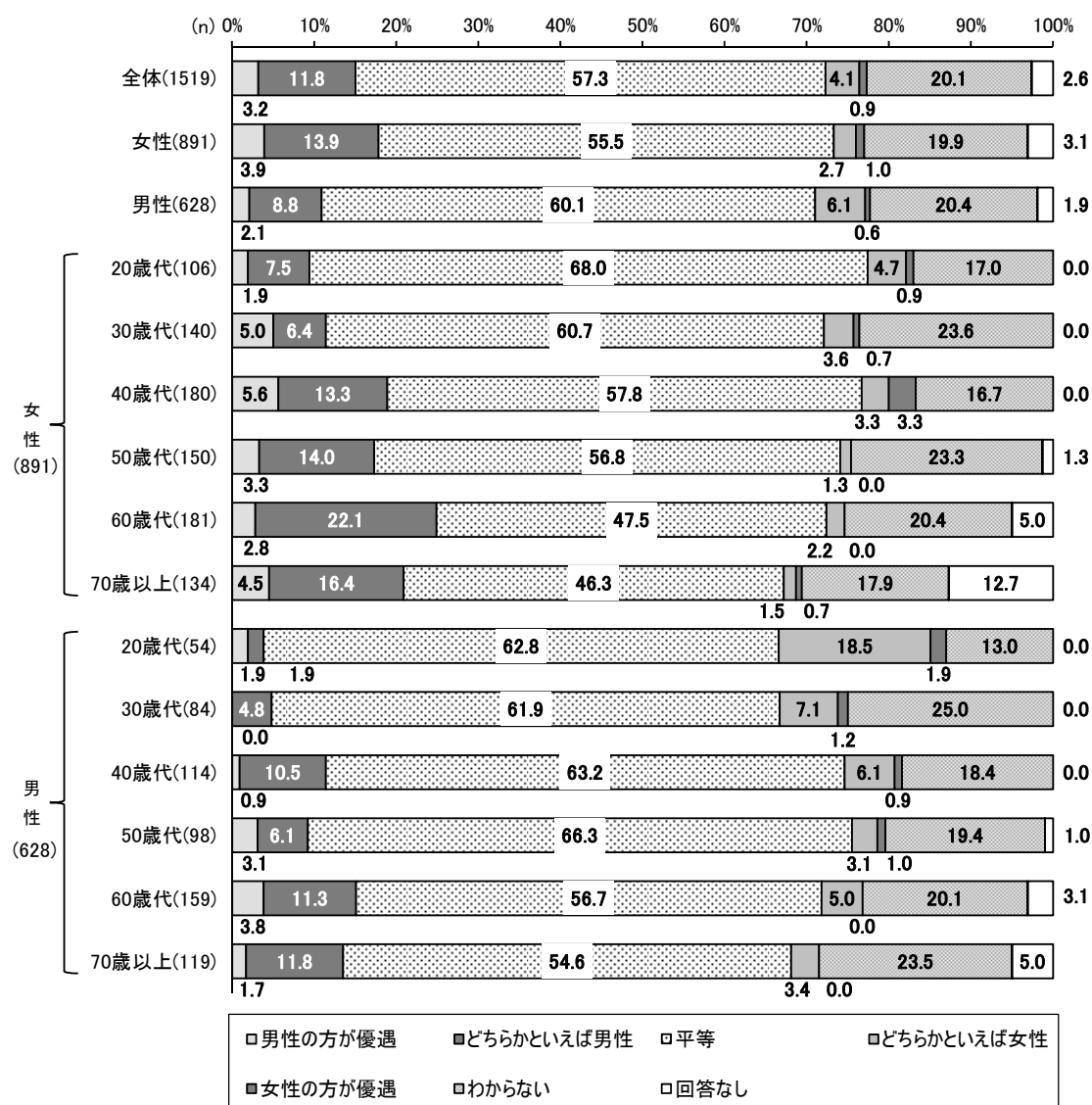
全体 57.3% (女性 55.5% 男性 60.1%)

➤「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」

全体 15.0% (女性 17.8% 男性 10.9%)

➤「女性の方が優遇されている」または「どちらかといえば女性の方が優遇されている」

全体 5.0% (女性 3.7% 男性 6.7%)



(4) 地域活動の場

> 「平等」

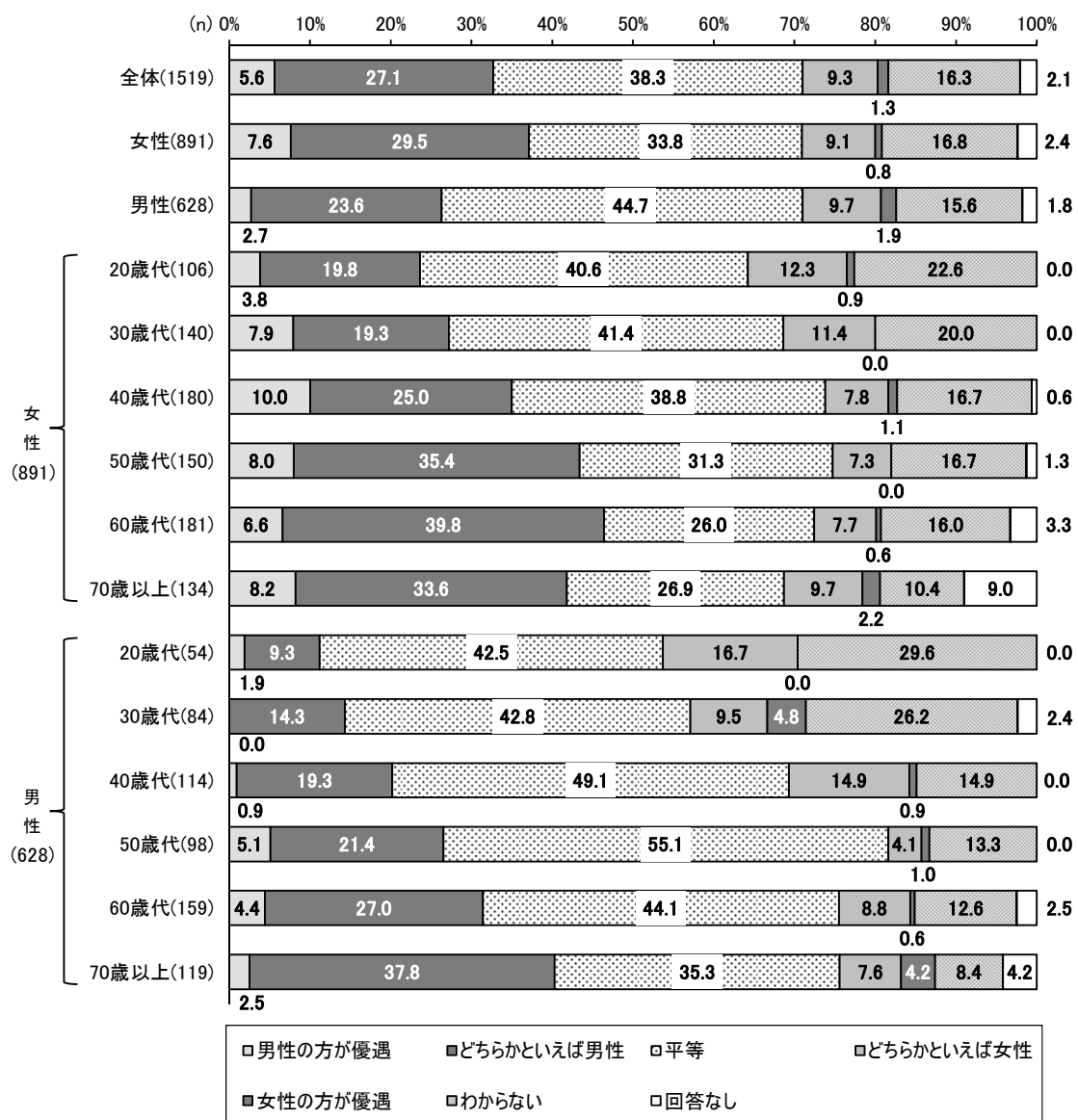
全体 38.3% (女性 33.8% 男性 44.7%)

> 「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」

全体 32.7% (女性 37.1% 男性 26.3%)

> 「女性の方が優遇されている」または「どちらかといえば女性の方が優遇されている」

全体 10.6% (女性 9.9% 男性 11.6%)



(5) 政治の場

➤「平等」

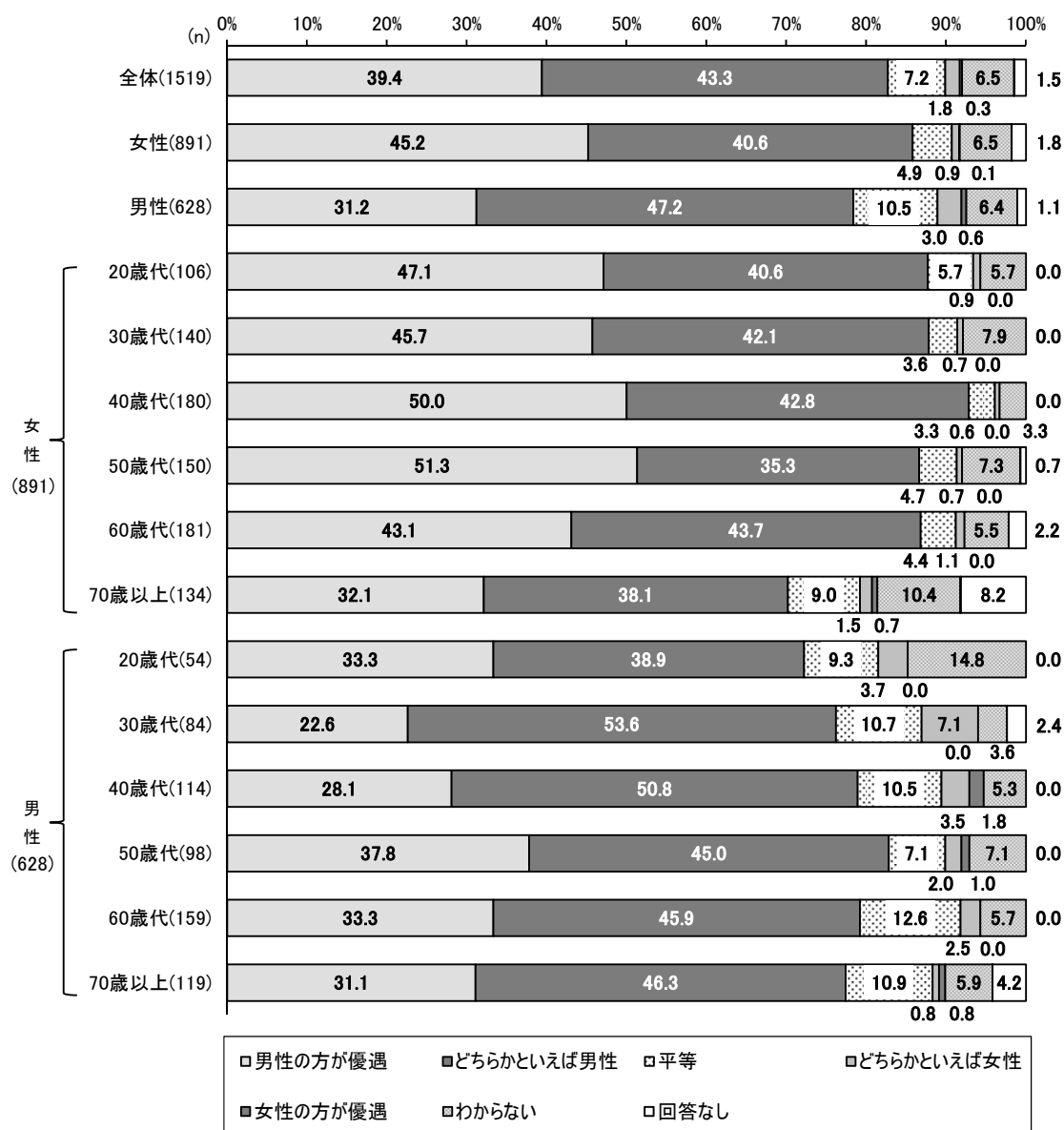
全体 7.2% (女性 4.9% 男性 10.5%)

➤「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」

全体 82.7% (女性 85.8% 男性 78.4%)

➤「女性の方が優遇されている」または「どちらかといえば女性の方が優遇されている」

全体 2.1% (女性 1.0% 男性 3.6%)



(6) 法律や制度の上

➤ 「平等」

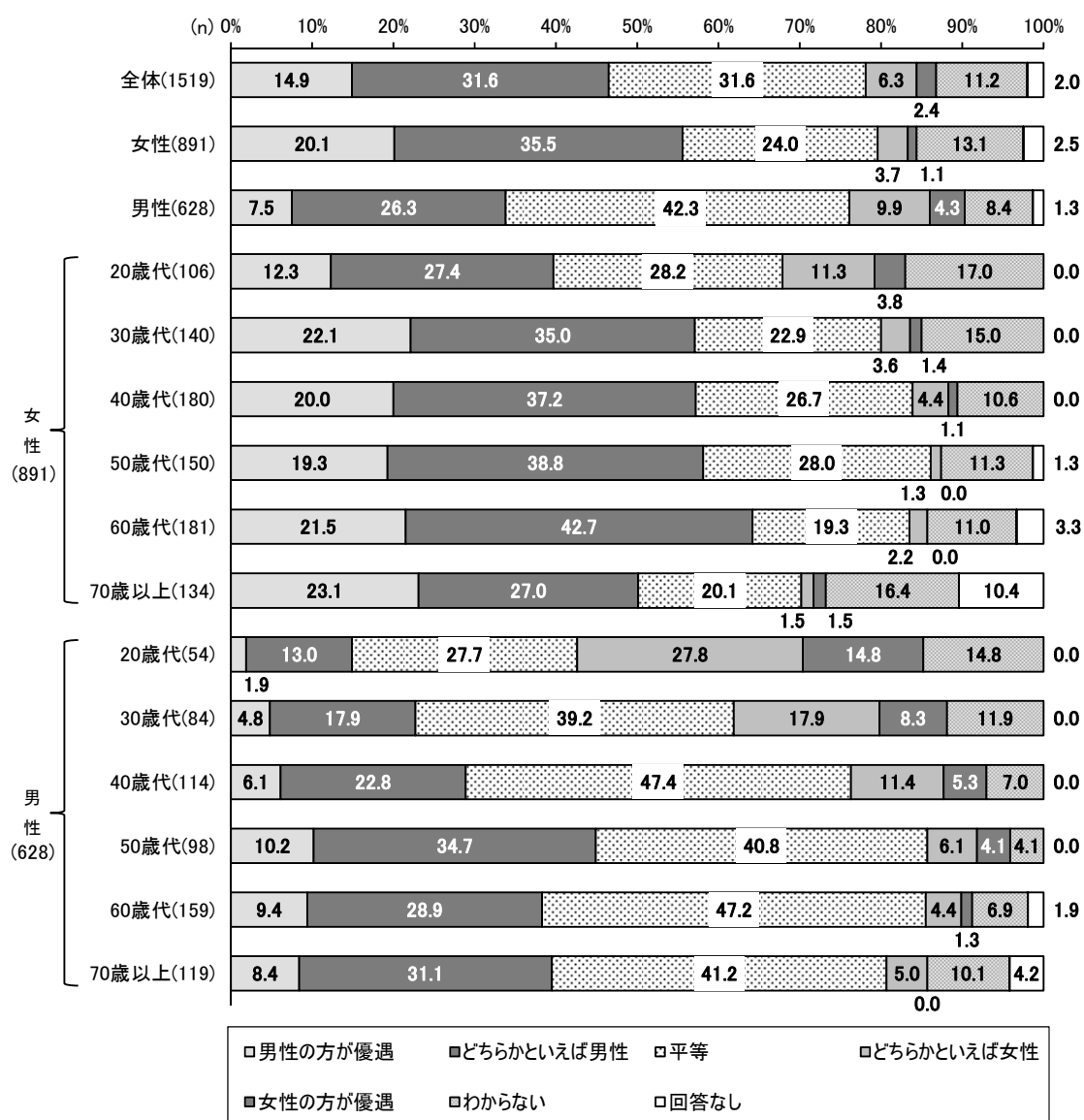
全体 31.6% (女性 24.0% 男性 42.3%)

➤ 「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」

全体 46.5% (女性 55.6% 男性 33.8%)

➤ 「女性の方が優遇されている」または「どちらかといえば女性の方が優遇されている」

全体 8.7% (女性 4.8% 男性 14.2%)



(7) 社会通念・習慣・しきたりなど

➤「平等」

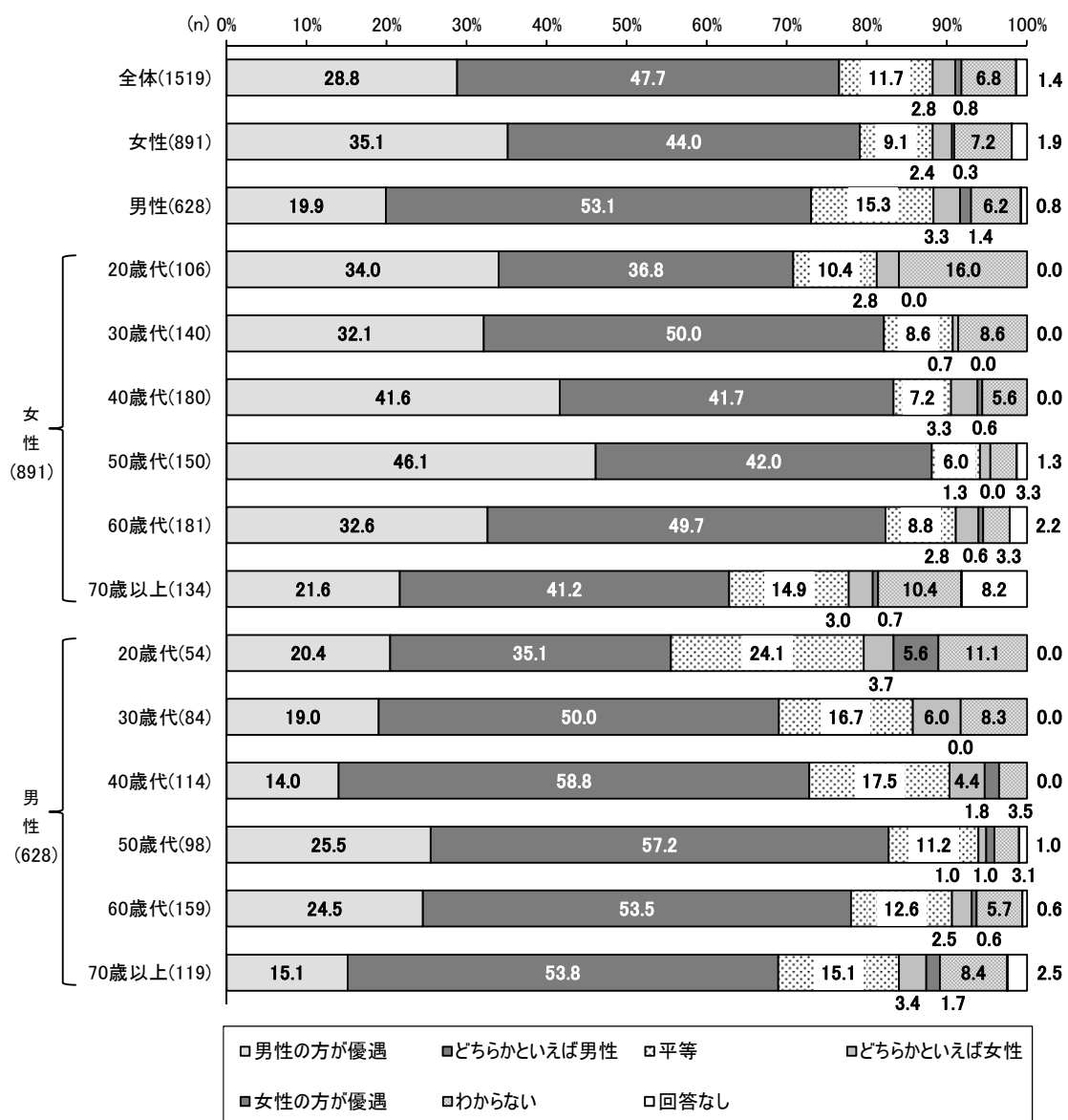
全体 11.7% (女性 9.1% 男性 15.3%)

➤「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」

全体 76.5% (女性 79.1% 男性 73.0%)

➤「女性の方が優遇されている」または「どちらかといえば女性の方が優遇されている」

全体 3.6% (女性 2.7% 男性 4.7%)



(8) 社会全体

> 「平等」

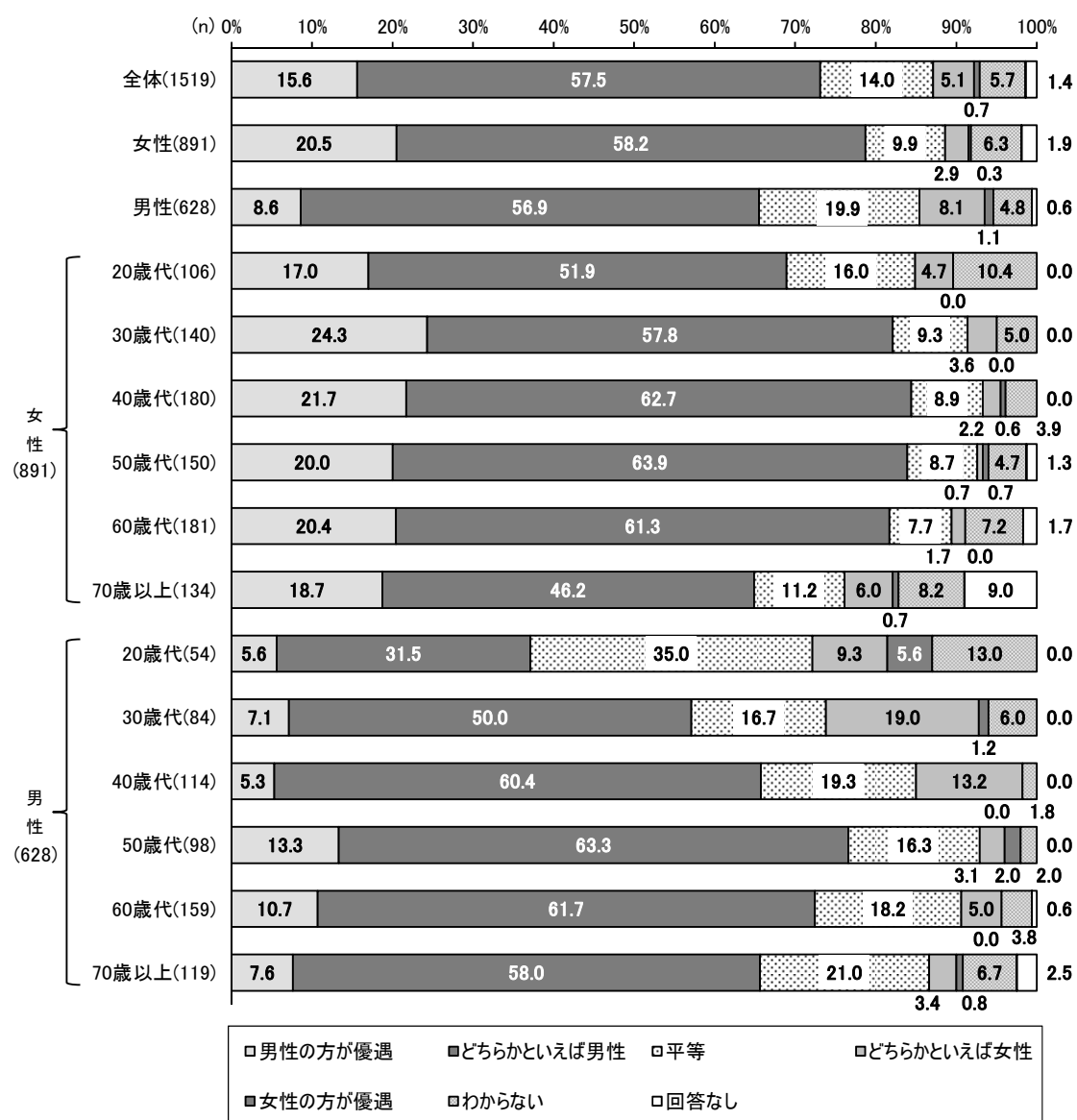
全体 14.0% (女性 9.9% 男性 19.9%)

> 「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」

全体 73.1% (女性 78.7% 男性 65.5%)

> 「女性の方が優遇されている」または「どちらかといえば女性の方が優遇されている」

全体 5.8% (女性 3.2% 男性 9.2%)



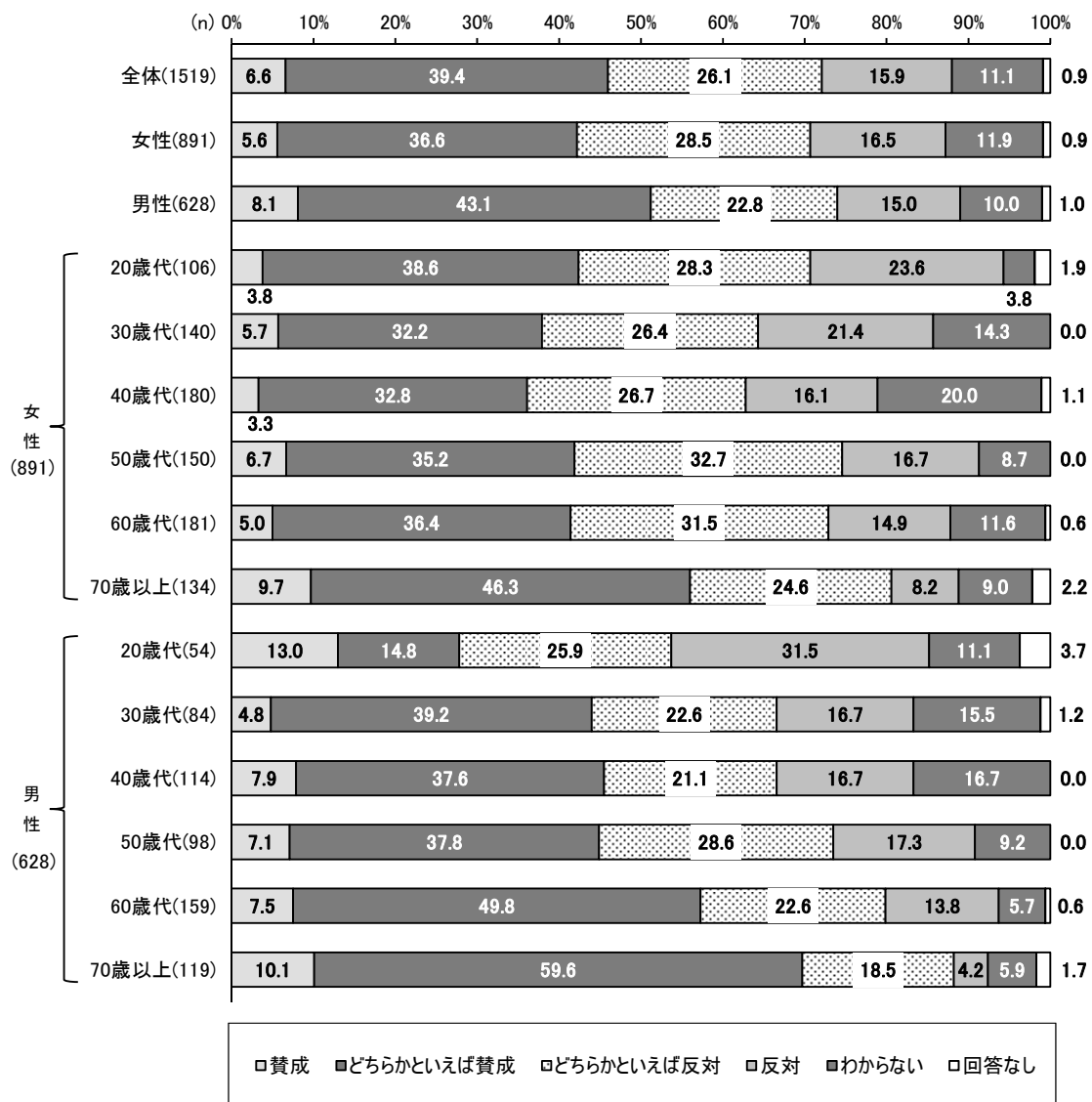
問2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、あなたのご意見にもっとも近いものはどれでしょうか。

➤「賛成」または「どちらかといえば賛成」

全体 46.0% （ 女性 42.2% 男性 51.2% ）

➤「反対」または「どちらかといえば反対」

全体 42.0% （ 女性 45.0% 男性 37.8% ）



問3 選択的夫婦別氏制（希望する夫婦が別々の姓を名乗ることができる制度）について、あなたは、この制度を認めたほうがよいと思いますか。それとも認めないほうがよいと思いますか。

➤「認めたほうがよい」

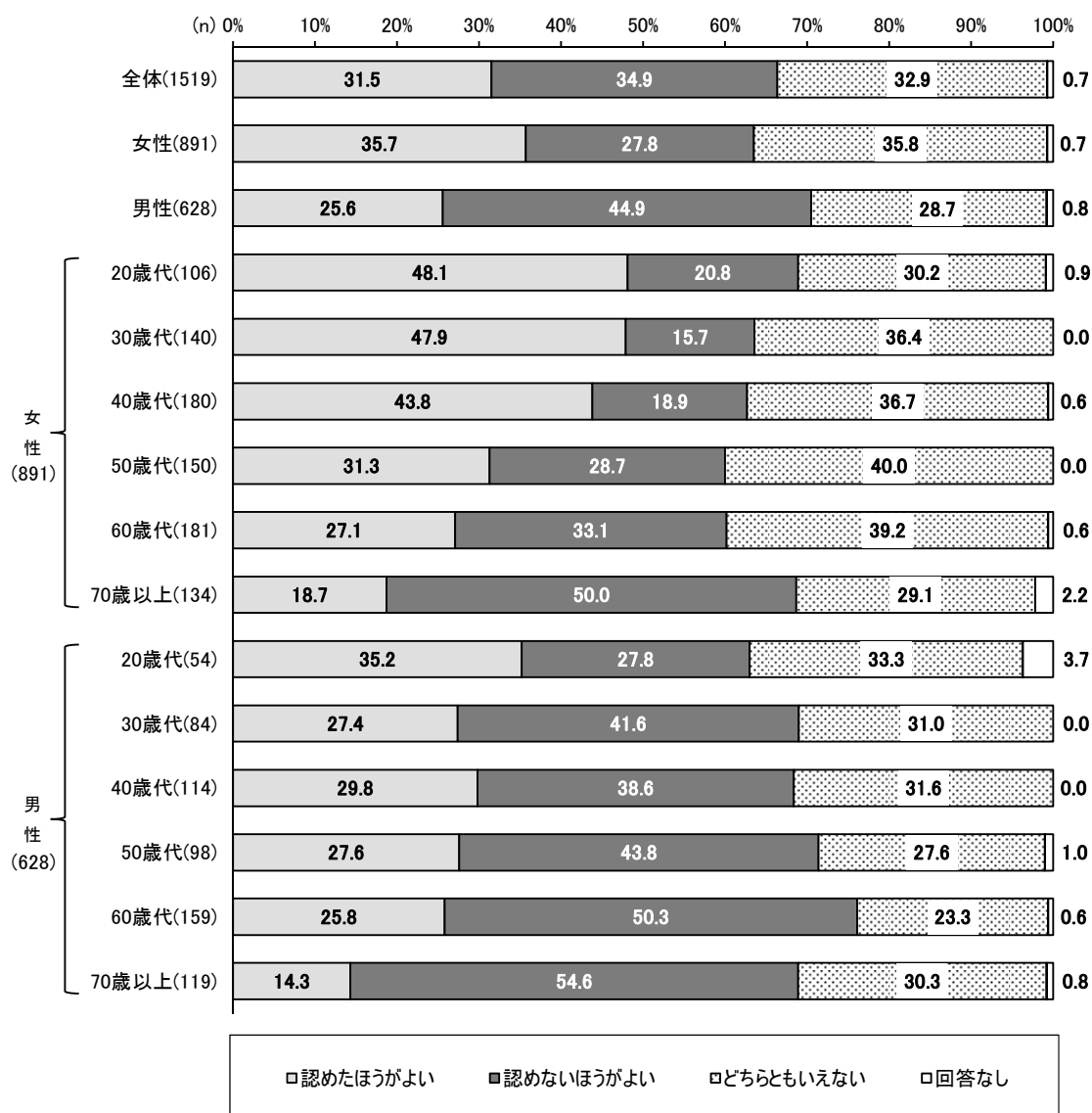
全体 31.5% （ 女性 35.7% 男性 25.6% ）

➤「認めないほうがよい」

全体 34.9% （ 女性 27.8% 男性 44.9% ）

➤「どちらともいえない」

全体 32.9% （ 女性 35.8% 男性 28.7% ）



Ⅱ 地域での活動について

問 4 地域の方との関わりについてお聞かせ下さい。

➤「地域での活動を通じて、地域の方とは積極的な関わりを持っている」

全体 13.4% (女性 14.1% 男性 12.3%)

➤「地域の清掃、ゴミの分別や防犯活動など決まりごとのみ参加している」

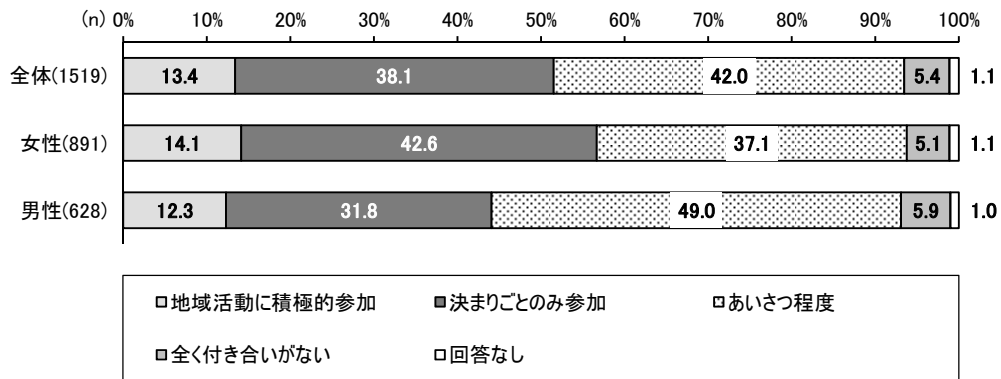
全体 38.1% (女性 42.6% 男性 31.8%)

➤「あいさつする程度で、ほとんど付き合いがない」

全体 42.0% (女性 37.1% 男性 49.0%)

➤「全く付き合いがない」

全体 5.4% (女性 5.1% 男性 5.9%)



問5 現在も含めて今までに、あなたは地域でどのような活動に参加しましたか。

● 参加している人の多い活動（上位3つ） ※「参加したことがない」を除く

➤ 「町内会・自治会」

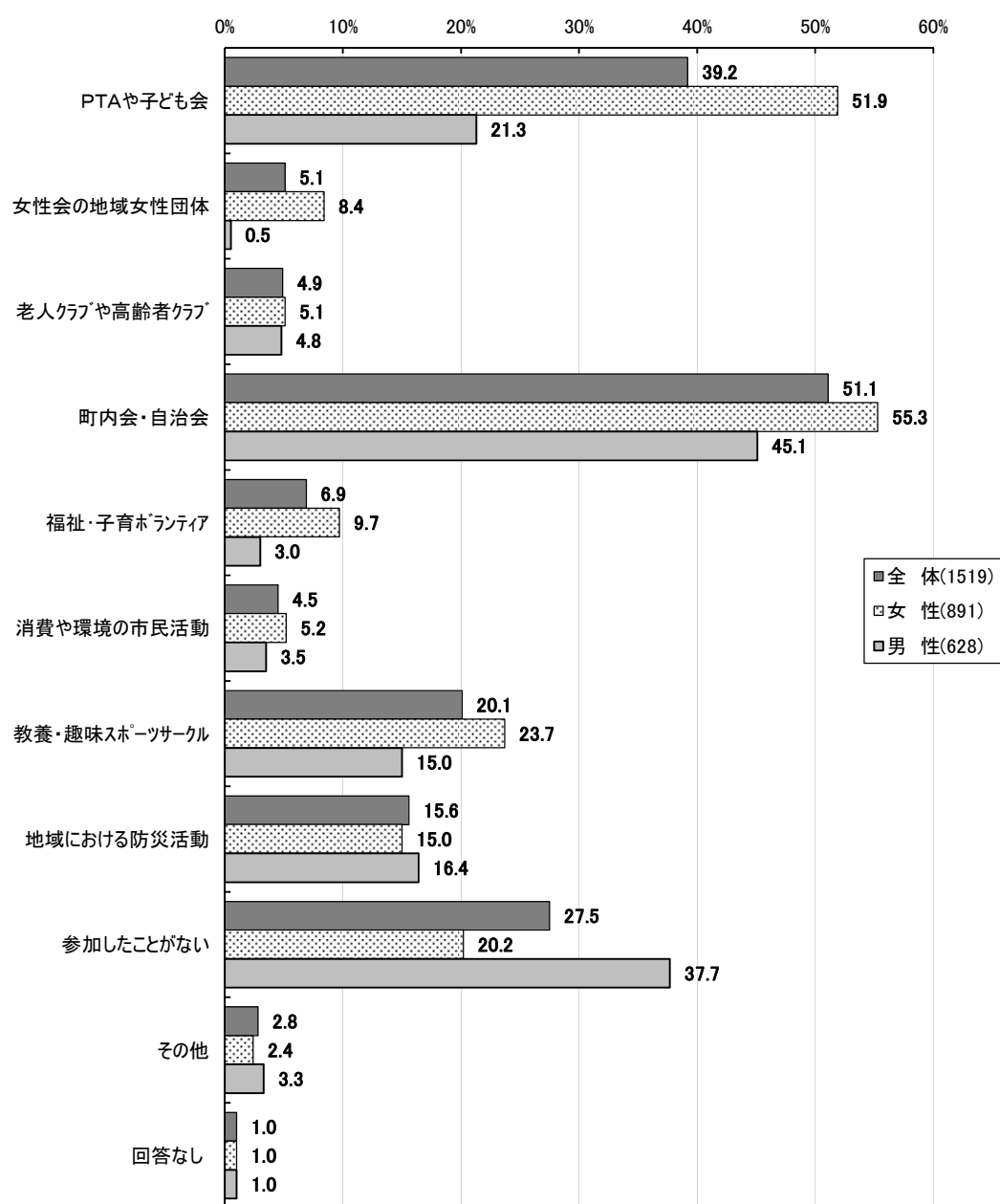
全体 51.1% （ 女性 55.3% 男性 45.1% ）

➤ 「PTAや子ども会」

全体 39.2% （ 女性 51.9% 男性 21.3% ）

➤ 「教養・趣味・スポーツのサークル」

全体 20.1% （ 女性 23.7% 男性 15.0% ）



問6 今後あるいは引き続き、あなたが参加してみたい地域での活動は何ですか。

● 参加してみたい活動（上位3つ） ※「いずれも参加したいとは思わない」を除く

➤「教養・趣味・スポーツのサークル」

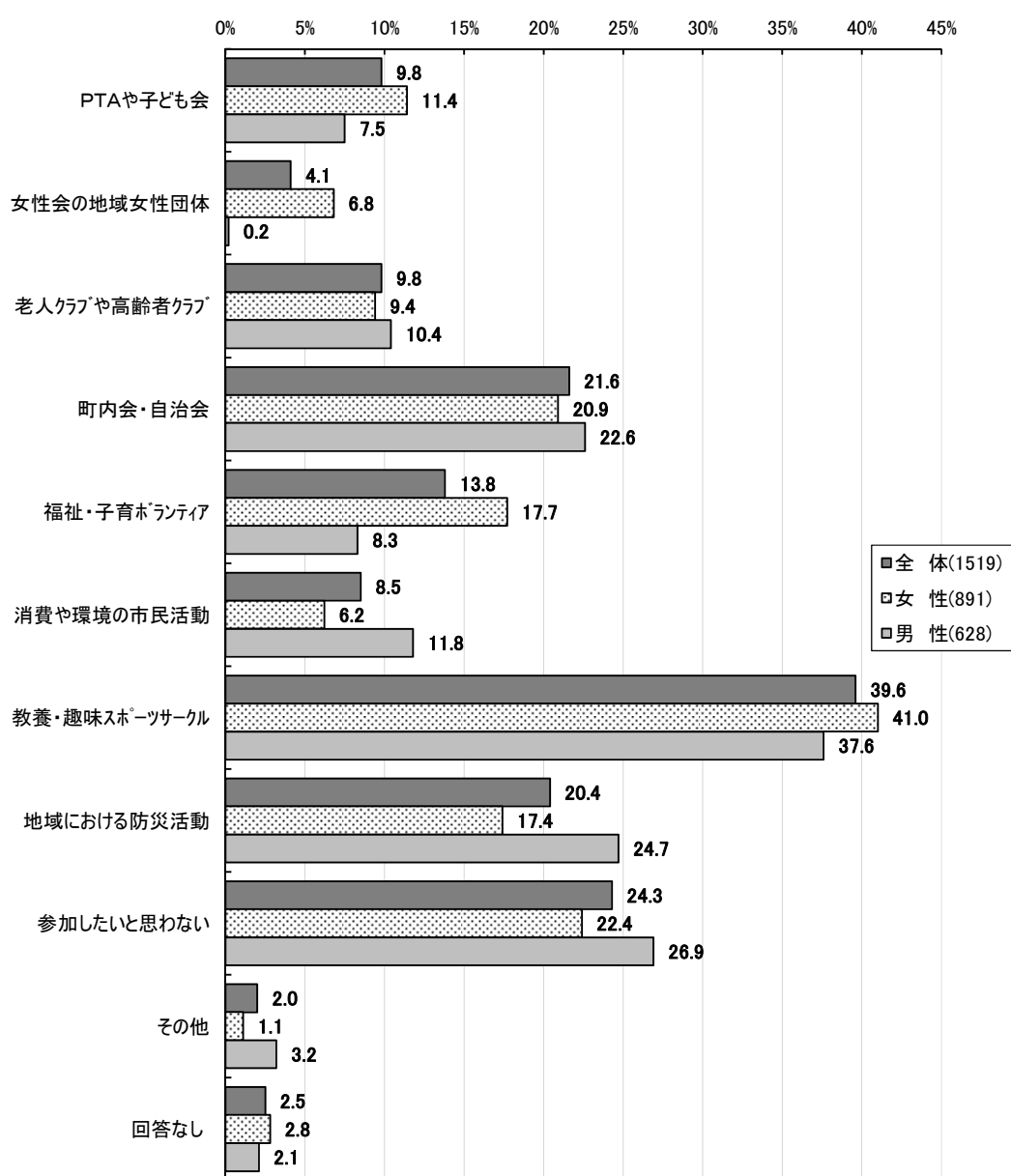
全体 39.6% （ 女性 41.0% 男性 37.6% ）

➤「町内会・自治会」

全体 21.6% （ 女性 20.9% 男性 22.6% ）

➤「地域における防災活動」

全体 20.4% （ 女性 17.4% 男性 24.7% ）



問7 「育児、介護などの家庭や地域で担われている役割は社会的にも重要であるため、社会全体で評価していこう」という考え方がありますが、あなたは具体的にどのような形で評価することが必要だと思いますか。

(1) 家庭での育児

➤「手当の支給や税制上の優遇などで経済的に評価する」

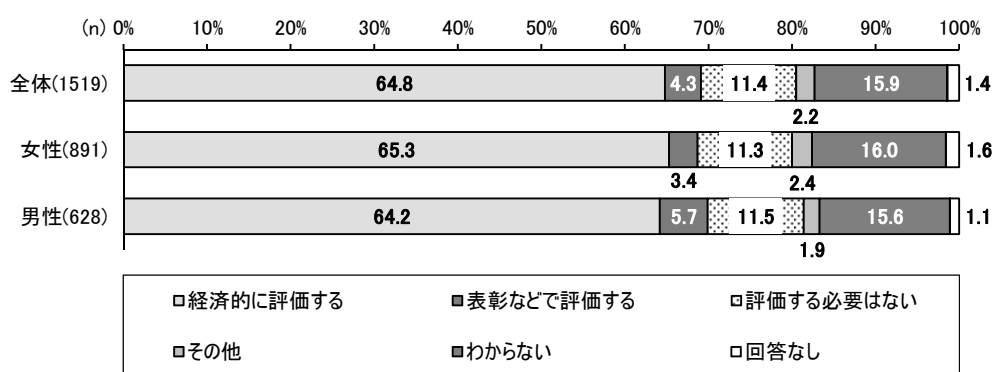
全体 64.8% (女性 65.3% 男性 64.2%)

➤「表彰などで社会的に評価する」

全体 4.3% (女性 3.4% 男性 5.7%)

➤「この役割について経済的・社会的に評価する必要はない」

全体 11.4% (女性 11.3% 男性 11.5%)



(2) 家庭での介護

➤「手当の支給や税制上の優遇などで経済的に評価する」

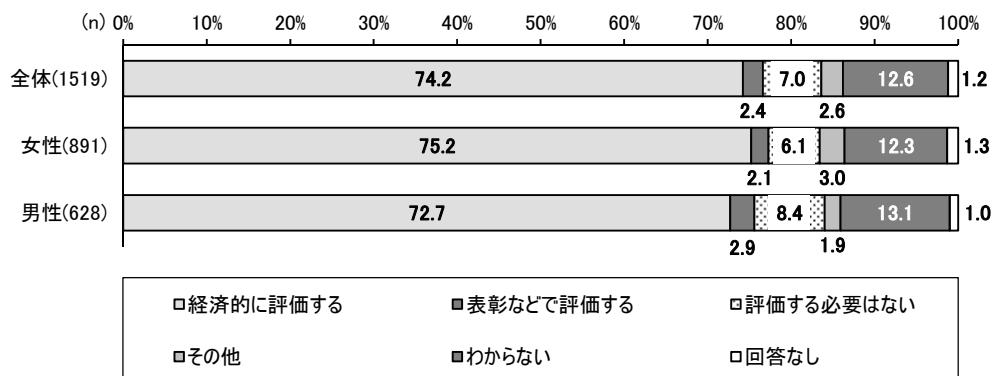
全体 74.2% (女性 75.2% 男性 72.7%)

➤「表彰などで社会的に評価する」

全体 2.4% (女性 2.1% 男性 2.9%)

➤「この役割について経済的・社会的に評価する必要はない」

全体 7.0% (女性 6.1% 男性 8.4%)



(3) 地域における福祉活動

➤「手当の支給や税制上の優遇などで経済的に評価する」

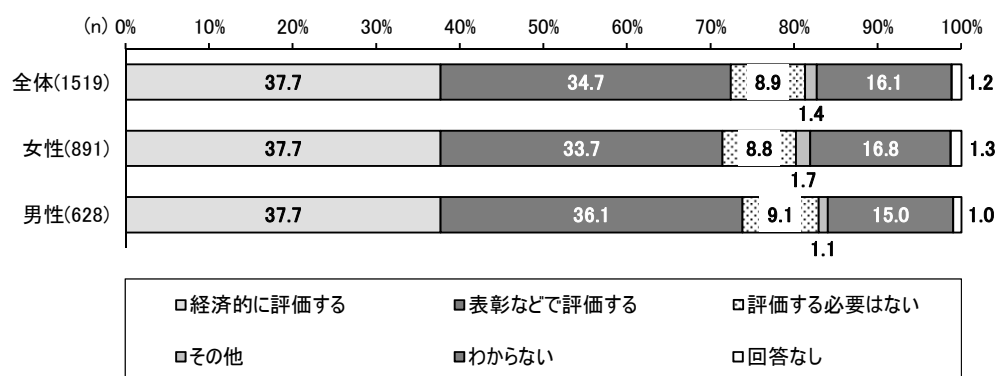
全体 37.7% (女性 37.7% 男性 37.7%)

➤「表彰などで社会的に評価する」

全体 34.7% (女性 33.7% 男性 36.1%)

➤「この役割について経済的・社会的に評価する必要はない」

全体 8.9% (女性 8.8% 男性 9.1%)



問 8 あなたは、地域における子育て支援として、どのようなことをしたらよいと思いますか。

● 多い項目（上位3つ）

➤ 「子どもがよくないことや危険なことをしているのを見かけたら注意する」

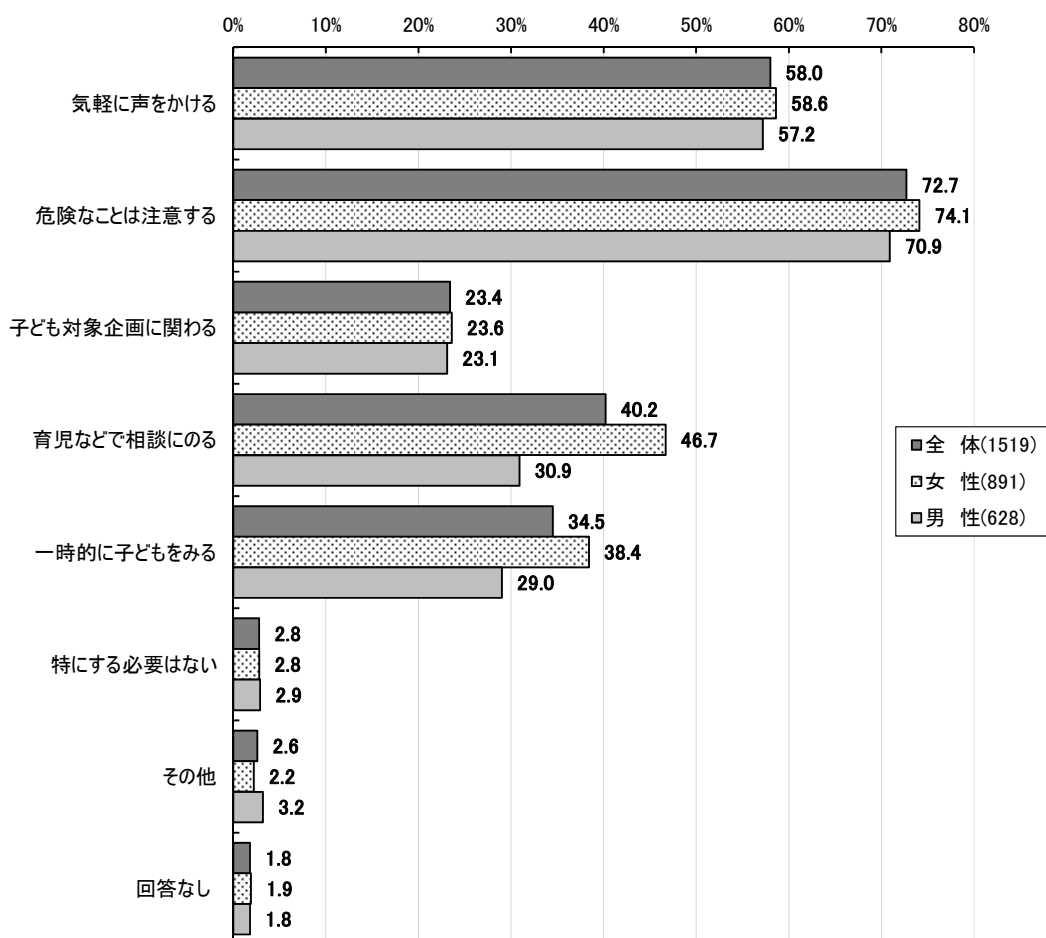
全体 72.7% （ 女性 74.1% 男性 70.9% ）

➤ 「地域の親子に出会った時には気軽に声をかける」

全体 58.0% （ 女性 58.6% 男性 57.2% ）

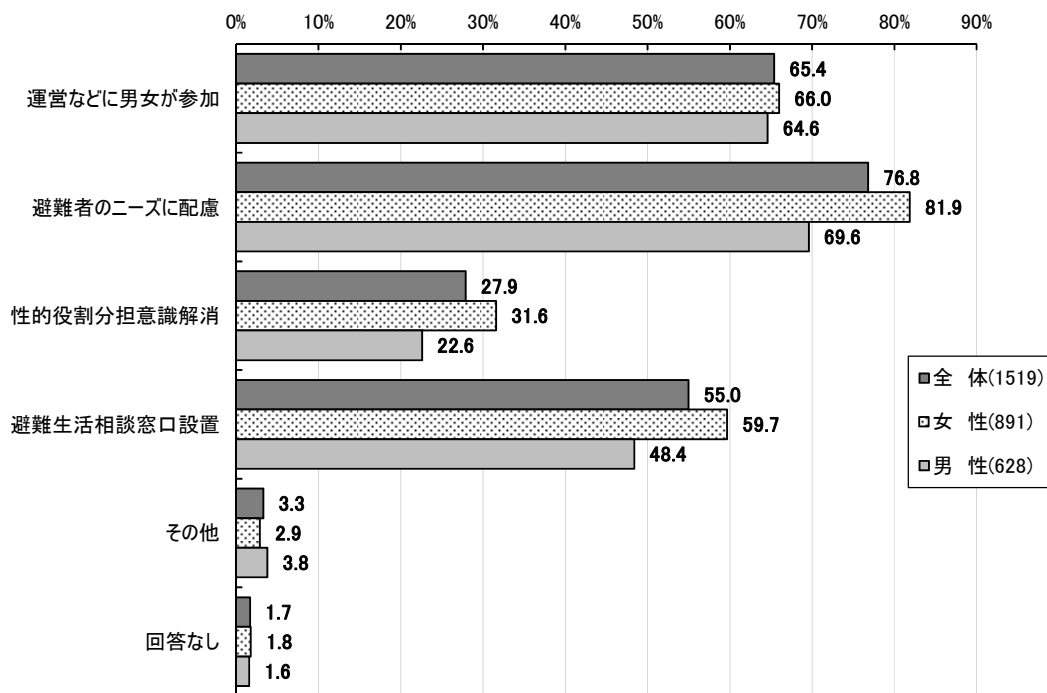
➤ 「育児などで困っている人の相談にのる」

全体 40.2% （ 女性 46.7% 男性 30.9% ）



問9 地域の防災についておたずねします。災害時の避難所運営について、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。

- 「避難所の運営、運営方針の決定などにおいて、女性と男性がともに参加すること」
全体 65.4% （女性 66.0% 男性 64.6%）
- 「男女別トイレや洗濯干場、授乳室の設置など、避難者のニーズに配慮すること」
全体 76.8% （女性 81.9% 男性 69.6%）
- 「女性は炊き出し、男性は力仕事といった固定的な性別役割分担意識の解消」
全体 27.9% （女性 31.6% 男性 22.6%）
- 「女性および男性が抱えた悩みや避難所生活上の問題を受け付ける窓口の設置」
全体 55.0% （女性 59.7% 男性 48.4%）



Ⅲ 労働について

問 10 一般的に、女性が職業を持つことについて、あなたはどうお考えですか。

➤ 「女性は職業を持たないほうがよい」

全体 0.4% (女性 0.3% 男性 0.5%)

➤ 「結婚するまでは、職業を持つほうがよい」

全体 3.6% (女性 2.7% 男性 4.9%)

➤ 「子どもができるまでは、職業を持つほうがよい」

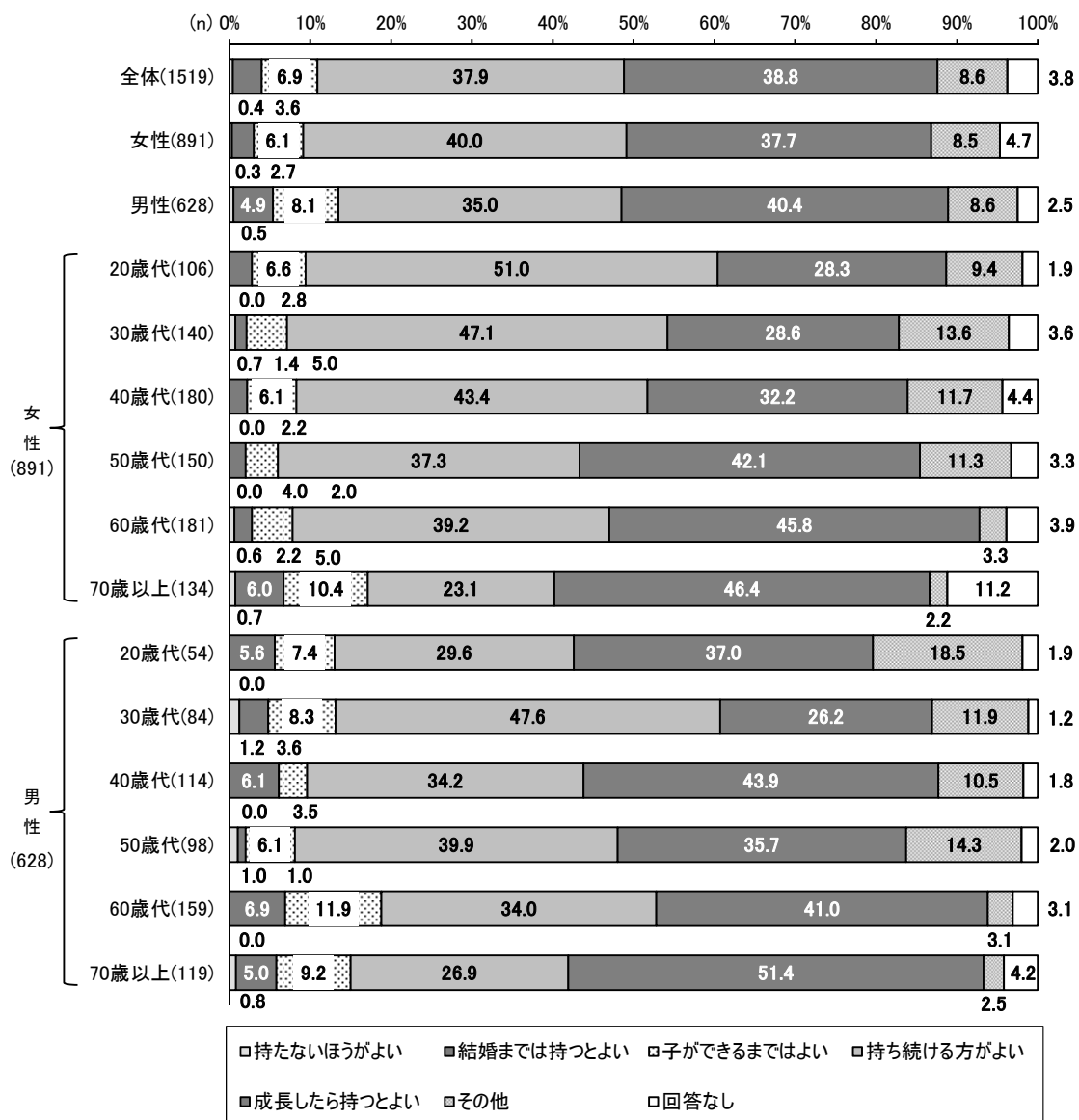
全体 6.9% (女性 6.1% 男性 8.1%)

➤ 「子どもができて、ずっと職業を持ちつづけるほうがよい」

全体 37.9% (女性 40.0% 男性 35.0%)

➤ 「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」

全体 38.8% (女性 37.7% 男性 40.4%)



問 1 1 1日のうちであなたが仕事や家事、子育て、介護に要する時間は、平日（働いている人は勤務日）どのくらいですか。

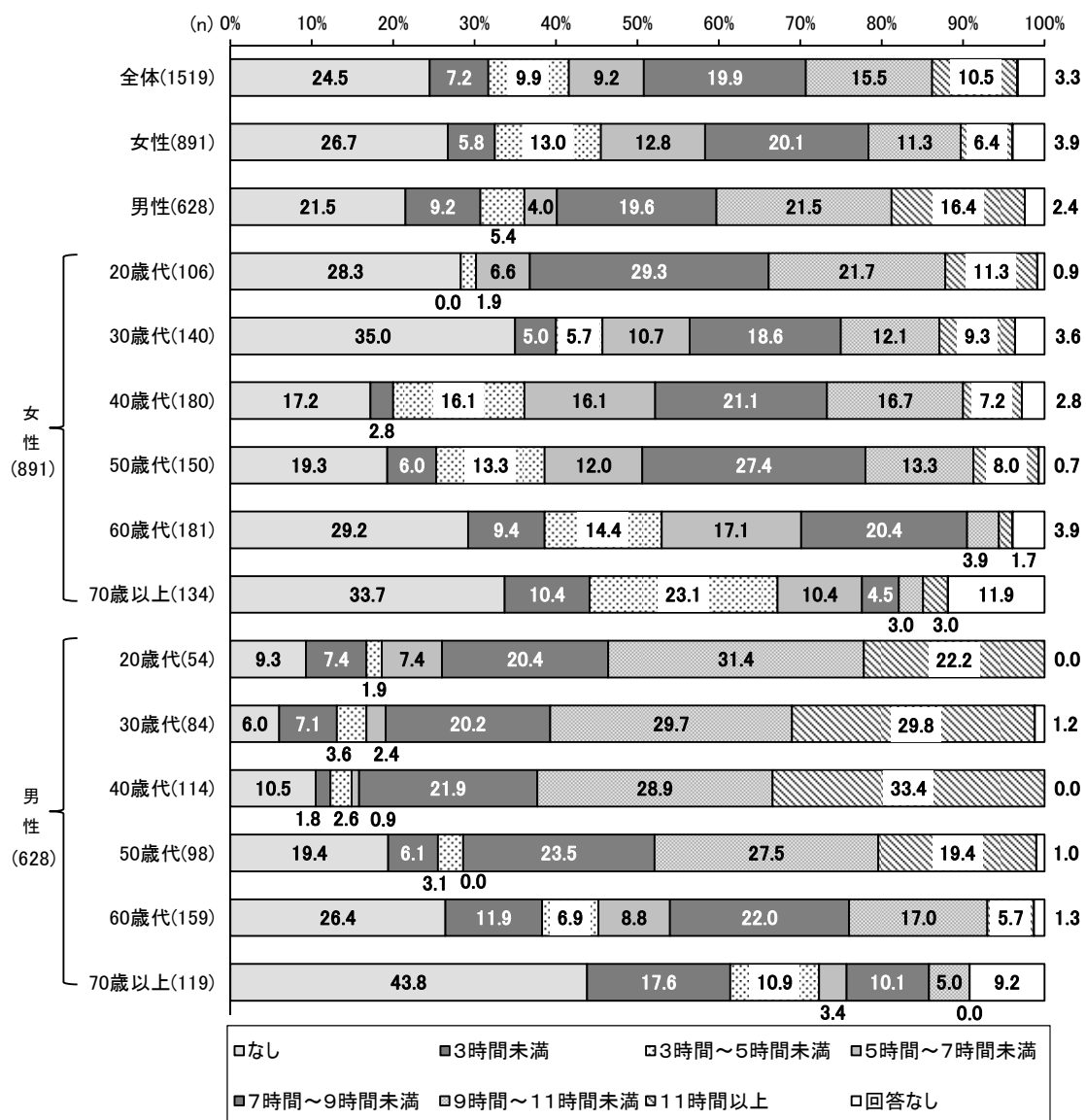
(1) 仕事（在宅就労を含む。また通勤時間を含む）

● 女性（上位3つ）

- 「なし」 26.7%
- 「7時間～9時間未満」 20.1%
- 「3時間～5時間未満」 13.0%

● 男性（上位3つ） ※1・2位は同率

- 「9時間～11時間未満」 21.5%
- 「なし」 21.5%
- 「7時間～9時間未満」 19.6%



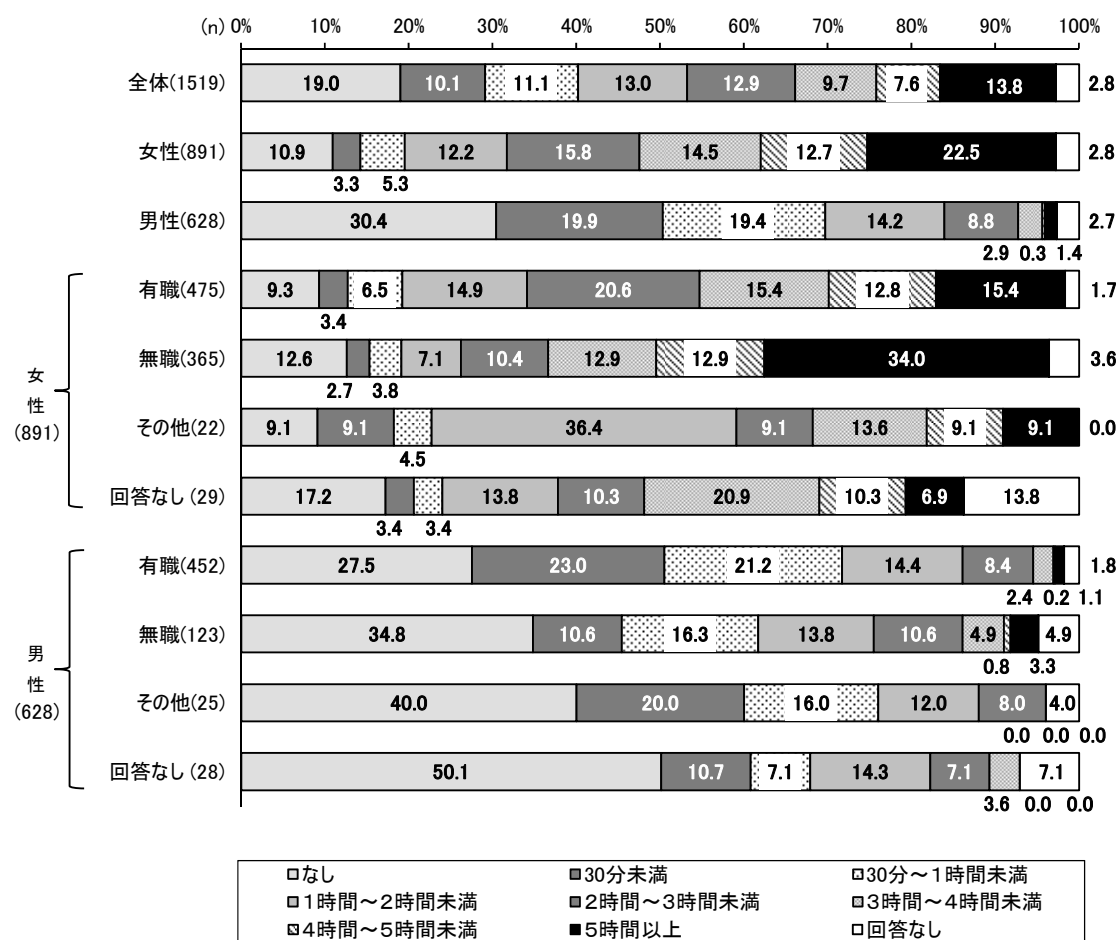
(2) 家事全般（子育て・介護を含む）

● 女性（上位3つ）

- 「5 時間以上」 22.5%
- 「2 時間～3 時間未満」 15.8%
- 「3 時間～4 時間未満」 14.5%

● 男性（上位 3 つ）

- 「なし」 30.4%
- 「30 分未満」 19.9%
- 「30 分～1 時間未満」 19.4%



家事全般のうち、子育て・介護に要する時間についておたずねします。

(2) - 1 子育てに要する時間

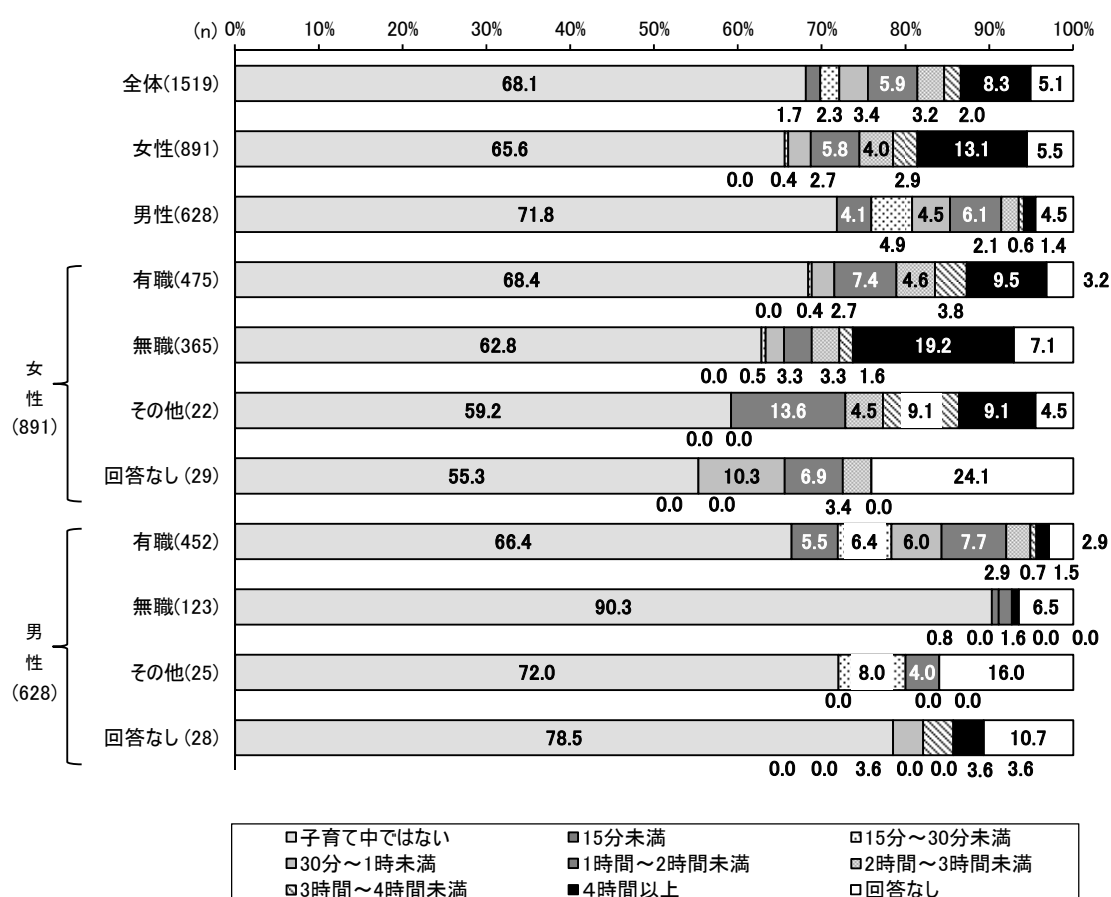
● 女性（上位3つ）

- 「4 時間以上」 13.1%
- 「1 時間～2 時間未満」 5.8%
- 「2 時間～3 時間未満」 4.0%

● 男性（上位3つ）

- 「1 時間～2 時間未満」 6.1%
- 「15 分～30 分未満」 4.9%
- 「30 分～1 時間未満」 4.5%

※男女とも「子育て中ではない」を除く



(2) - 2 介護に要する時間

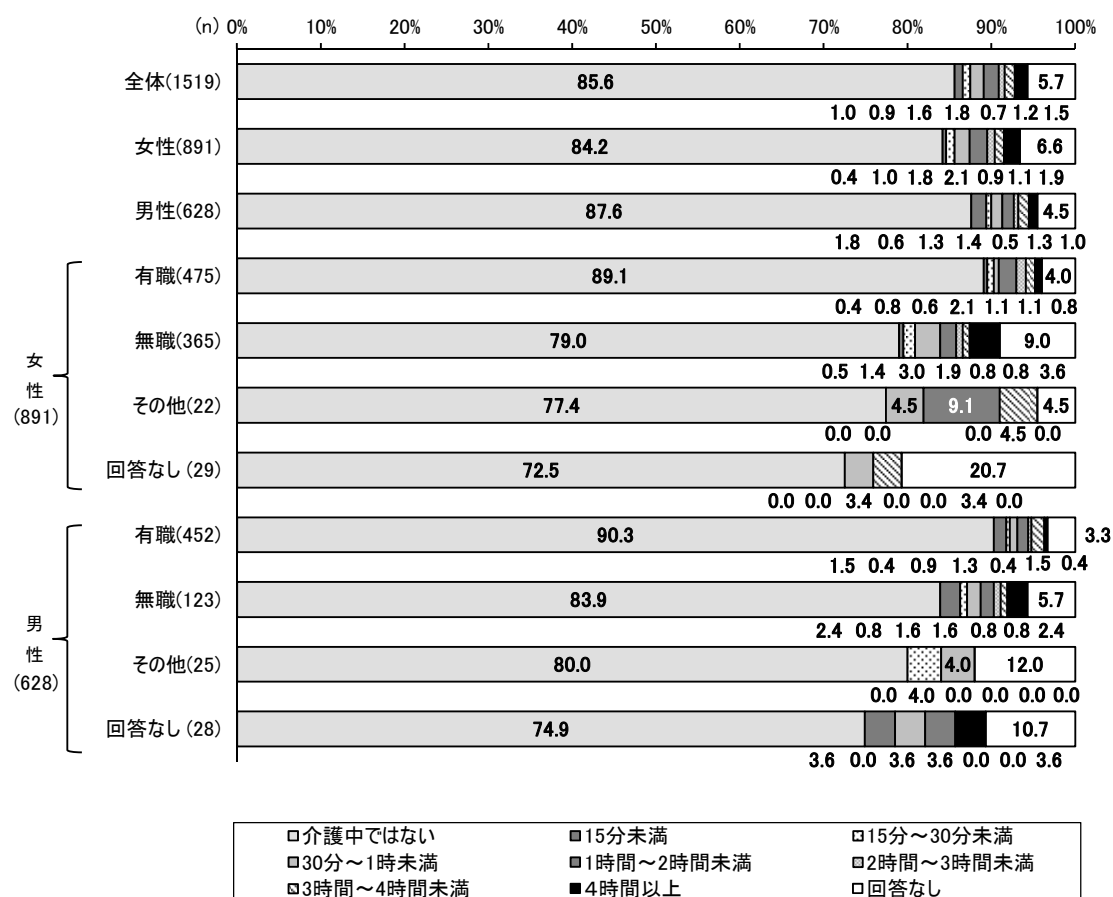
● 女性（上位3つ）

- 「1 時間～2 時間未満」 2.1%
- 「4 時間以上」 1.9%
- 「30 分～1 時間未満」 1.8%

● 男性（上位3つ） ※3 位は同率

- 「15 分未満」 1.8%
- 「1 時間～2 時間未満」 1.4%
- 「30 分～1 時間未満」 1.3%
- 「3 時間～4 時間未満」 1.3%

※男女とも「介護中ではない」を除く



問 1 2 あなたの仕事についておたずねします。あなたは、収入のある仕事についていますか。あるいは、収入のある仕事についた経験がありますか。

➤「現在、収入のある仕事についている」

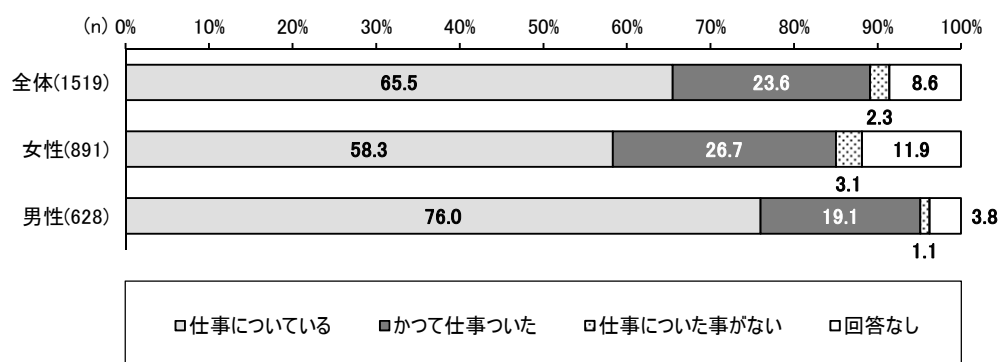
全体 65.5% (女性 58.3% 男性 76.0%)

➤「かつて収入のある仕事についたことがある」

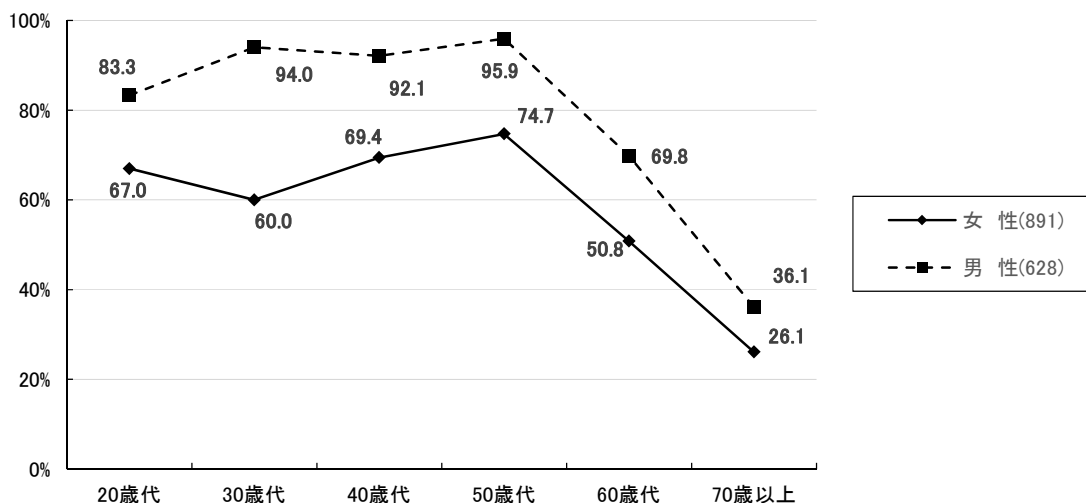
全体 23.6% (女性 26.7% 男性 19.1%)

➤「収入のある仕事についたことがない」

全体 2.3% (女性 3.1% 男性 1.1%)



● 収入のある仕事に就いている割合（性別、年代別）



問 1 2 - 1 あなたは、将来働きたいとお考えですか。（現在働いていない方のみ）

➤ 「すぐにでも仕事をしたい」

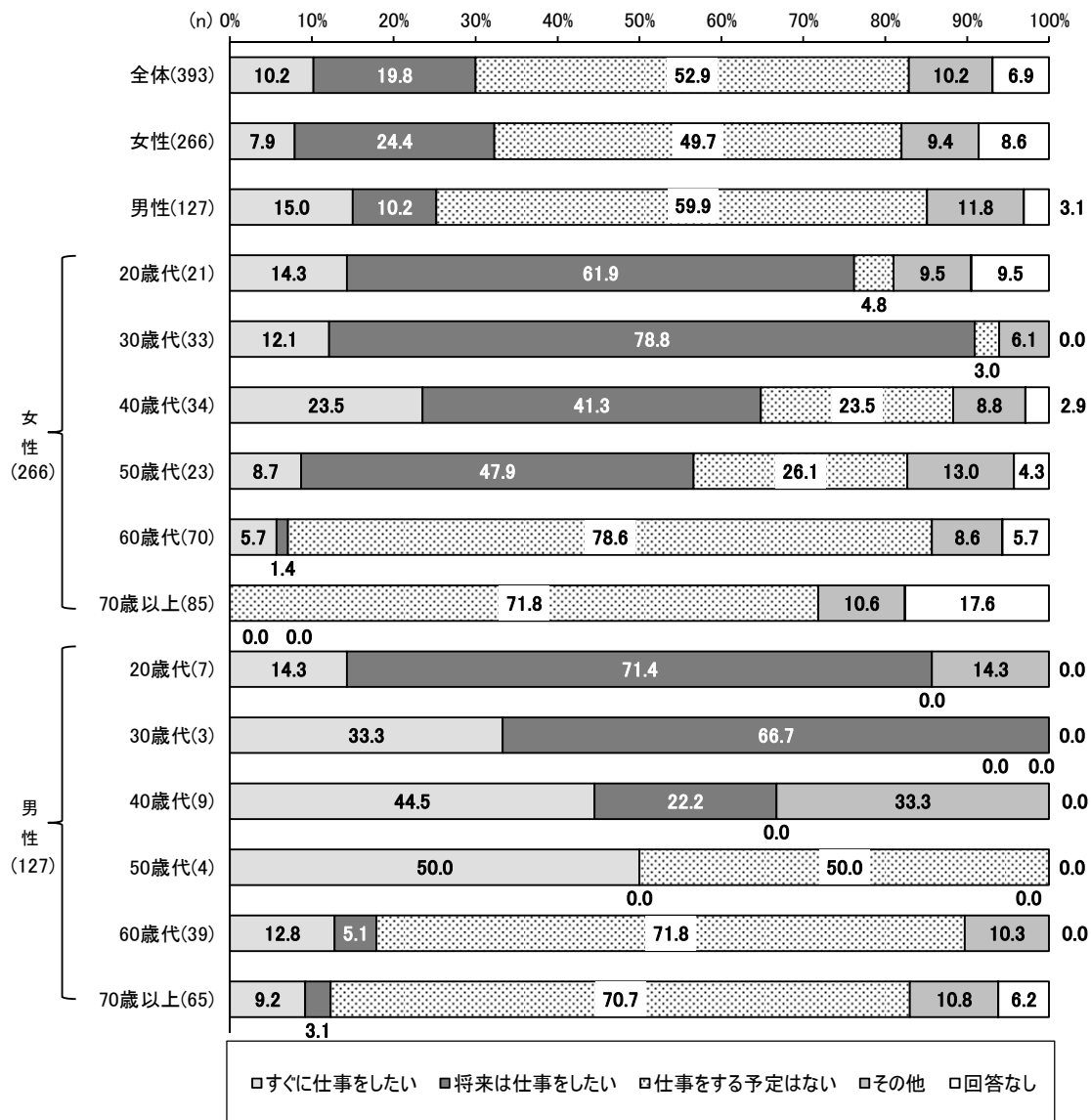
全体 10.2% （ 女性 7.9% 男性 15.0% ）

➤ 「将来は仕事をしたい」

全体 19.8% （ 女性 24.4% 男性 10.2% ）

➤ 「仕事をするつもりはない」

全体 52.9% （ 女性 49.7% 男性 59.9% ）



問 1 3 仕事と家庭生活のどちらに重点を置くかについて、あなたの理想と現実について、お答えください。

<理想>

➤「仕事中心」または「どちらかといえば仕事中心」

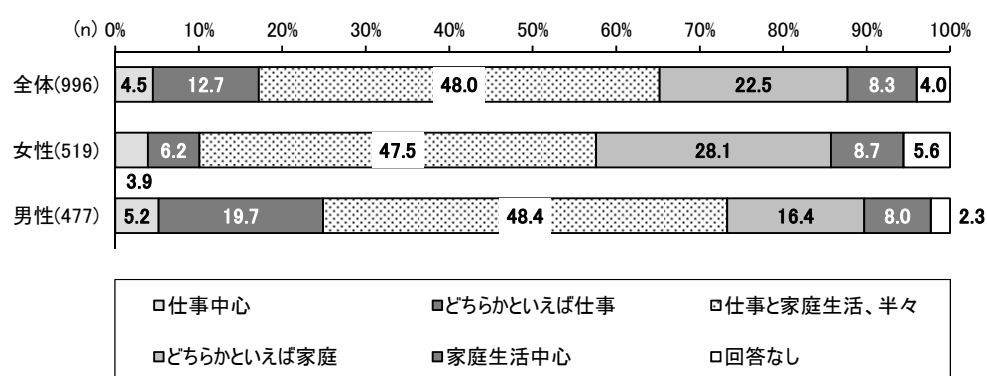
全体 17.2% （ 女性 10.1% 男性 24.9% ）

➤「仕事と家庭生活ほぼ半々」

全体 48.0% （ 女性 47.5% 男性 48.4% ）

➤「家庭生活中心」または「どちらかといえば家庭生活中心」

全体 30.8% （ 女性 36.8% 男性 24.4% ）



<現実>

➤「仕事中心」または「どちらかといえば仕事中心」

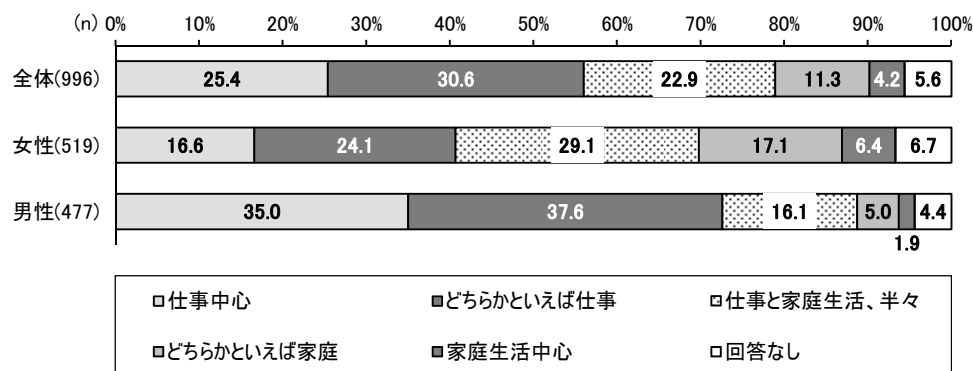
全体 56.0% （ 女性 40.7% 男性 72.6% ）

➤「仕事と家庭生活ほぼ半々」

全体 22.9% （ 女性 29.1% 男性 16.1% ）

➤「家庭生活中心」または「どちらかといえば家庭生活中心」

全体 15.5% （ 女性 23.5% 男性 6.9% ）



問 1 4 あなたの仕事と家庭生活の関係についておたずねします。

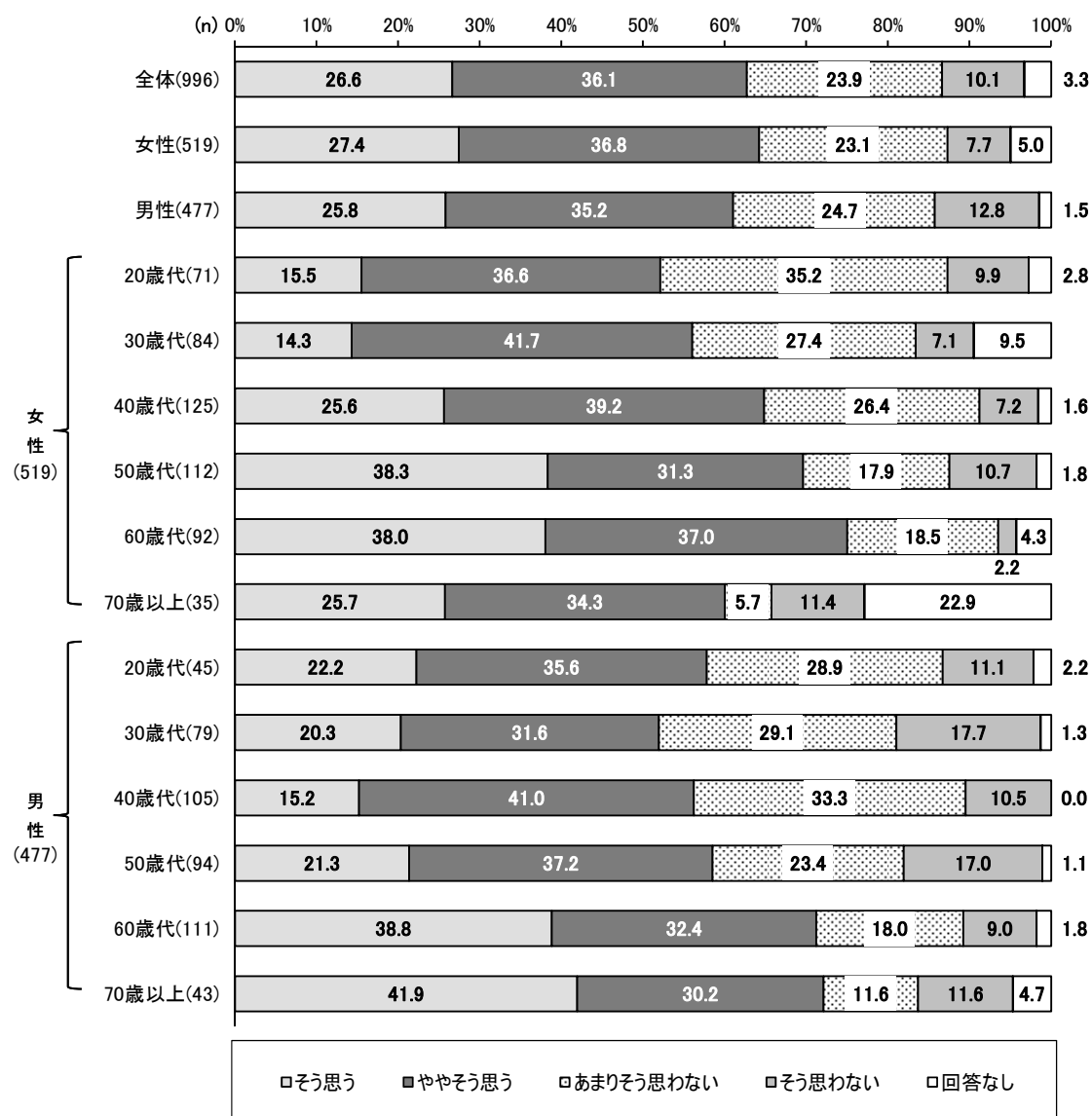
(1) 仕事と家庭生活のバランスがうまくとれている。

➤ 「そう思う」または「ややそう思う」

全体 62.7% (女性 64.2% 男性 61.0%)

➤ 「そう思わない」または「あまりそう思わない」

全体 34.0% (女性 30.8% 男性 37.5%)



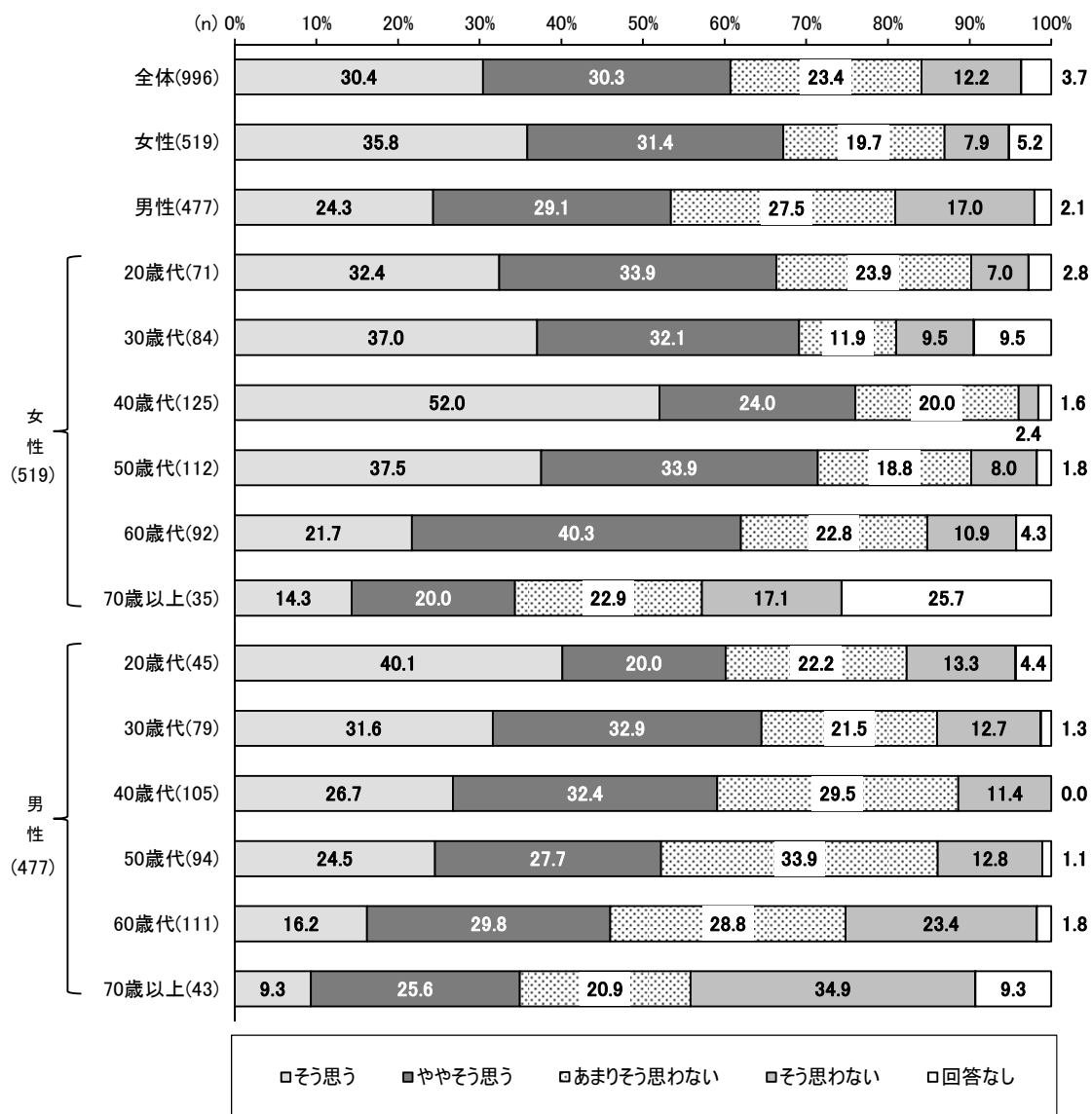
(2) 仕事と家庭生活の両立で、毎日があわただしい。

➤「そう思う」または「ややそう思う」

全体 60.7% (女性 67.2% 男性 53.4%)

➤「そう思わない」または「あまりそう思わない」

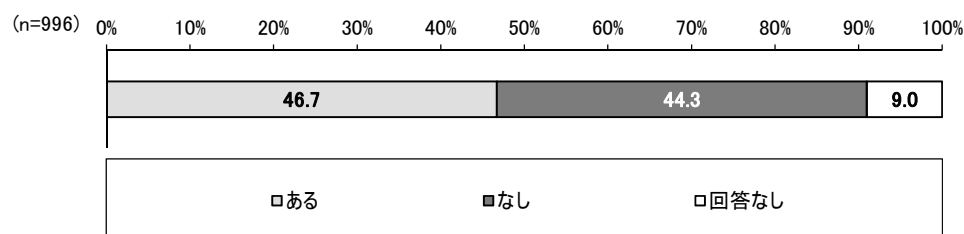
全体 35.6% (女性 27.6% 男性 44.5%)



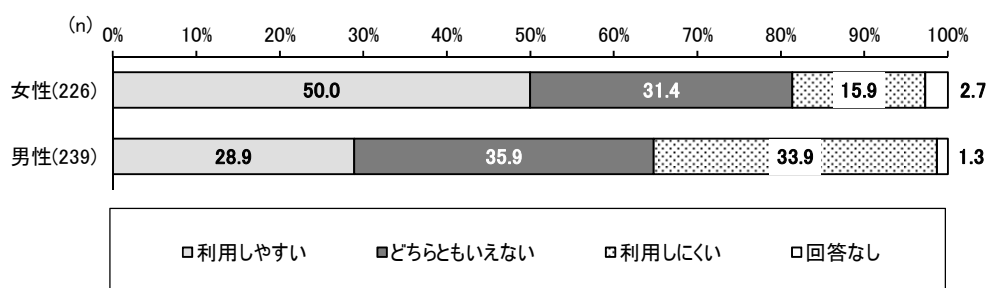
問 1 5 あなたの職場に下記の制度がありますか。また制度がある場合、利用しやすいですか。

(1) 育児休業制度

・制度の有無

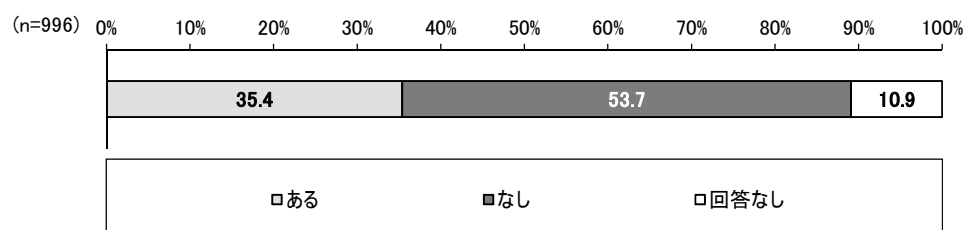


・利用のしやすさ

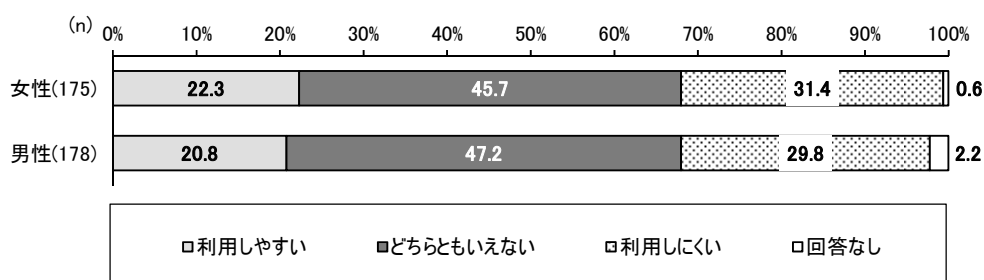


(2) 介護休業制度

・制度の有無



・利用のしやすさ



問 1 6 あなたは育児休業を取得したことがありますか。

➤ 「取得したことがある」

全体 5.4% (女性 8.9% 男性 1.7%)

➤ 「現在、取得中である」

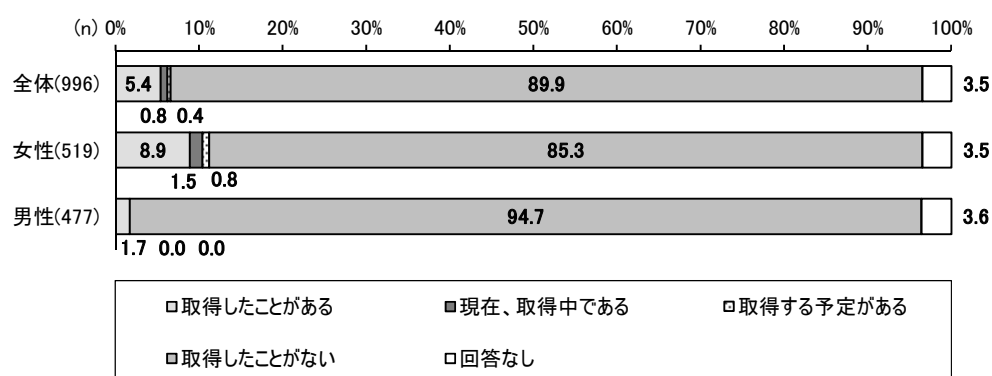
全体 0.8% (女性 1.5% 男性 0.0%)

➤ 「取得する予定がある」

全体 0.4% (女性 0.8% 男性 0.0%)

➤ 「取得したことがない」

全体 89.9% (女性 85.3% 男性 94.7%)



問 1 7 あなたは介護休業を取得したことがありますか。

➤ 「取得したことがある」

全体 1.4% (女性 1.9% 男性 0.8%)

➤ 「現在、取得中である」

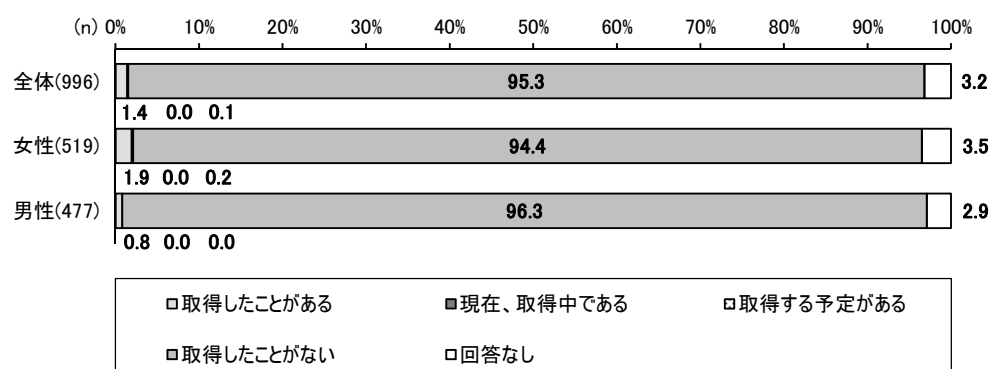
全体 0.0%

➤ 「取得する予定がある」

全体 0.1% (女性 0.2% 男性 0.0%)

➤ 「取得したことがない」

全体 95.3% (女性 94.4% 男性 96.3%)



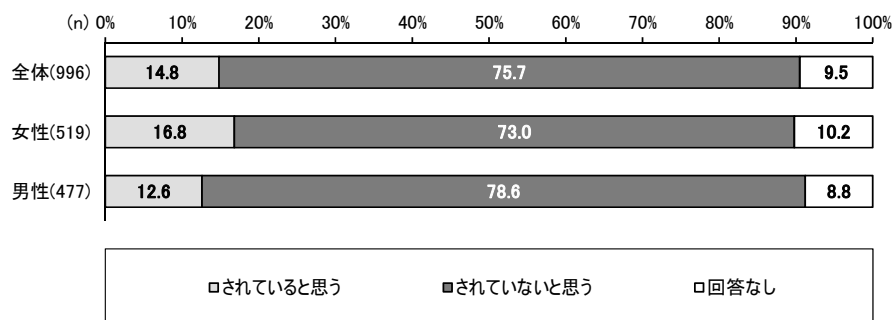
問 1 8 あなたの職場では、採用時や仕事の内容、待遇面で、女性は男性に比べ不当な扱いをされていると思いますか。

➤「されていると思う」

全体 14.8% (女性 16.8% 男性 12.6%)

➤「されていないと思う」

全体 75.7% (女性 73.0% 男性 78.6%)



問 1 8 - 1 それは具体的にどのようなことですか。

● 女性（上位3つ）

➤「賃金差別」 41.4%

➤「昇進・昇格差別」 39.1%

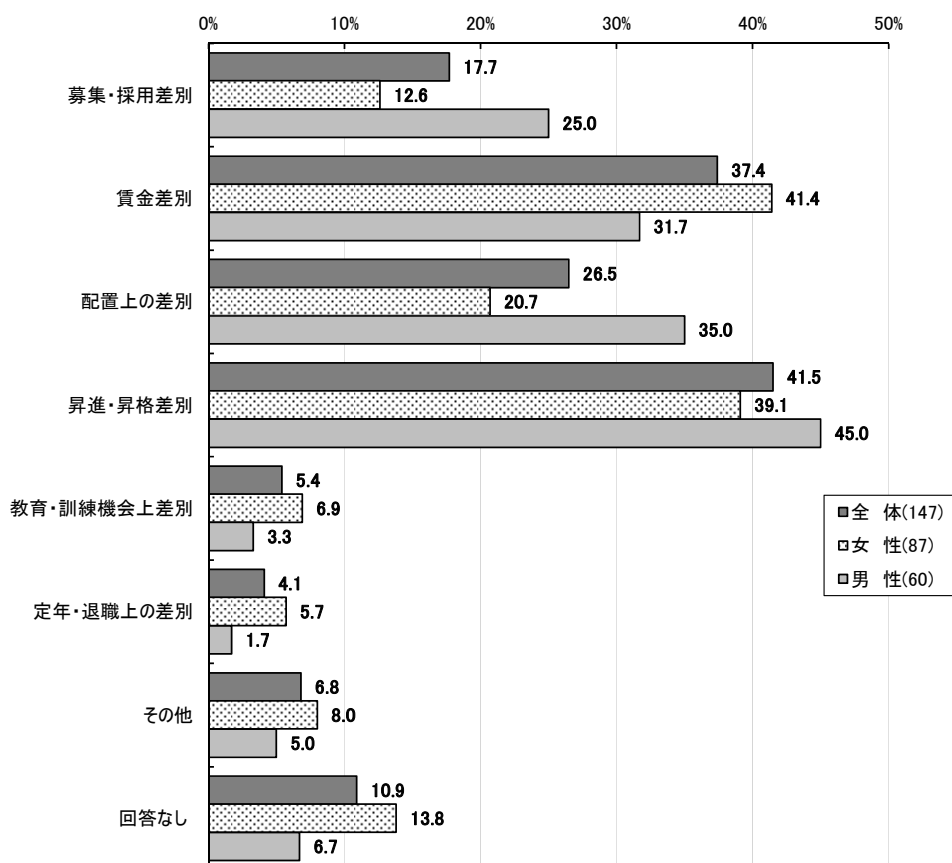
➤「配置上の差別」 20.7%

● 男性（上位3つ）

➤「昇進・昇格差別」 45.0%

➤「配置上の差別」 35.0%

➤「賃金差別」 31.7%



問 19 あなたは生活全般に満足していますか。それとも不満ですか。

➤「とても満足」または「満足」

全体 30.3% （ 女性 29.0% 男性 32.0% ）

➤「どちらかといえば満足」

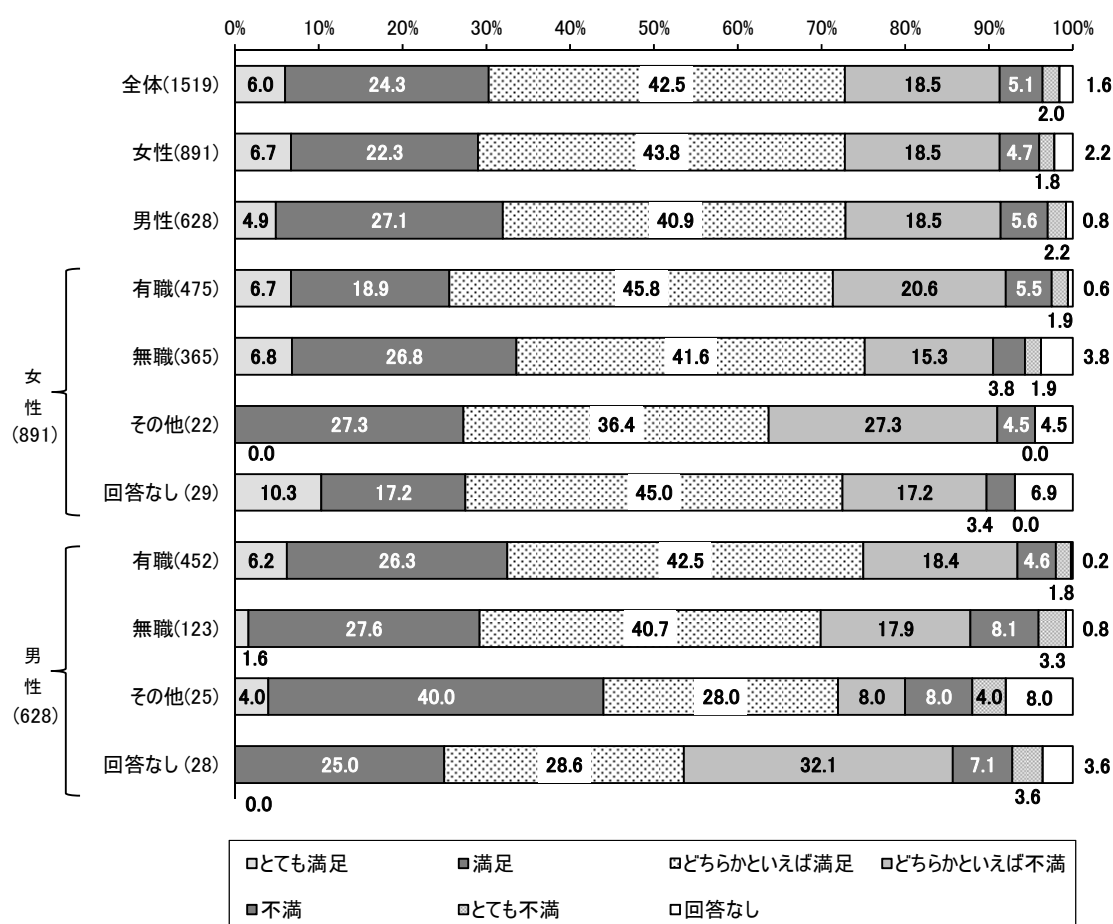
全体 42.5% （ 女性 43.8% 男性 40.9% ）

➤「どちらかといえば不満」

全体 18.5% （ 女性 18.5% 男性 18.5% ）

➤「とても不満」または「不満」

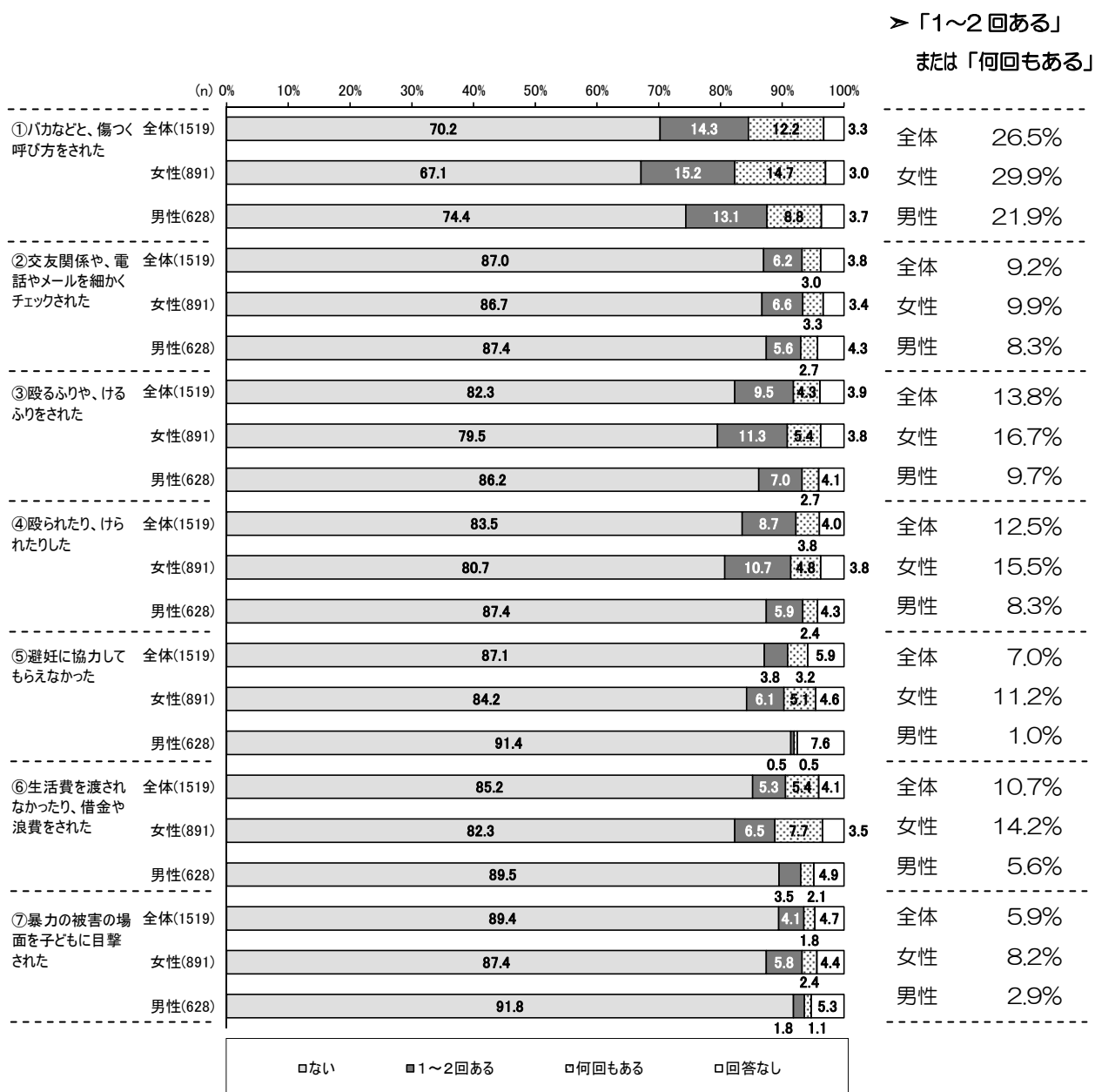
全体 7.1% （ 女性 6.5% 男性 7.8% ）



IV 人権に関わる問題について

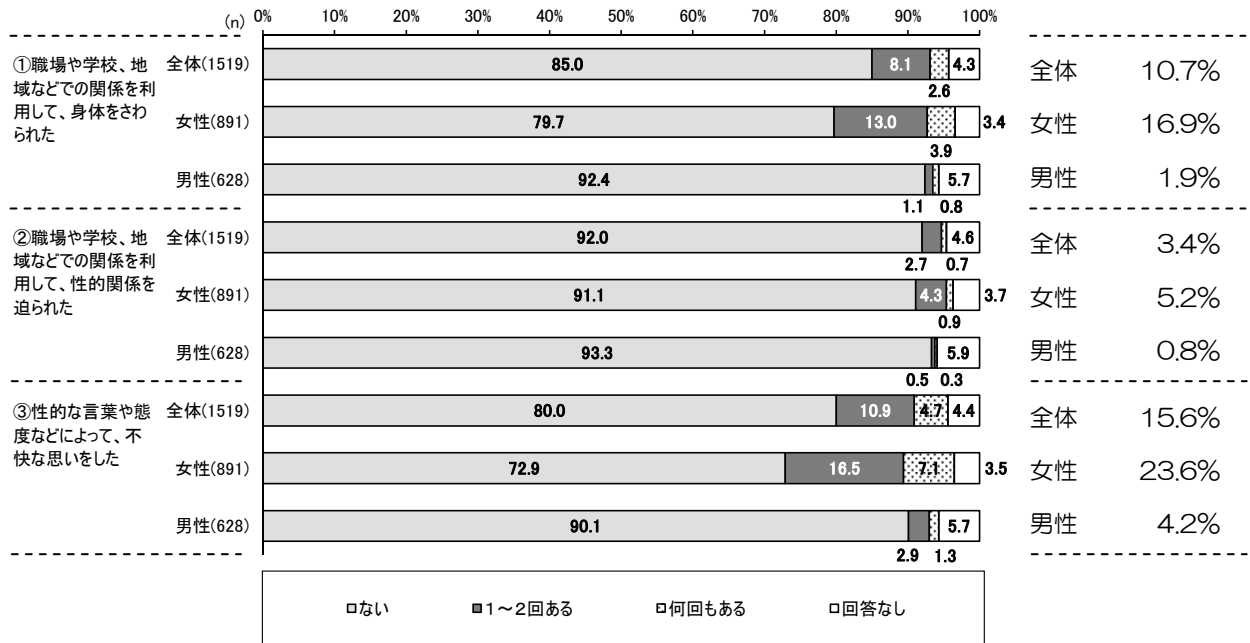
問 20 あなたは、次のような被害を経験したことがありますか。

(1) 配偶者や交際相手からの暴力について



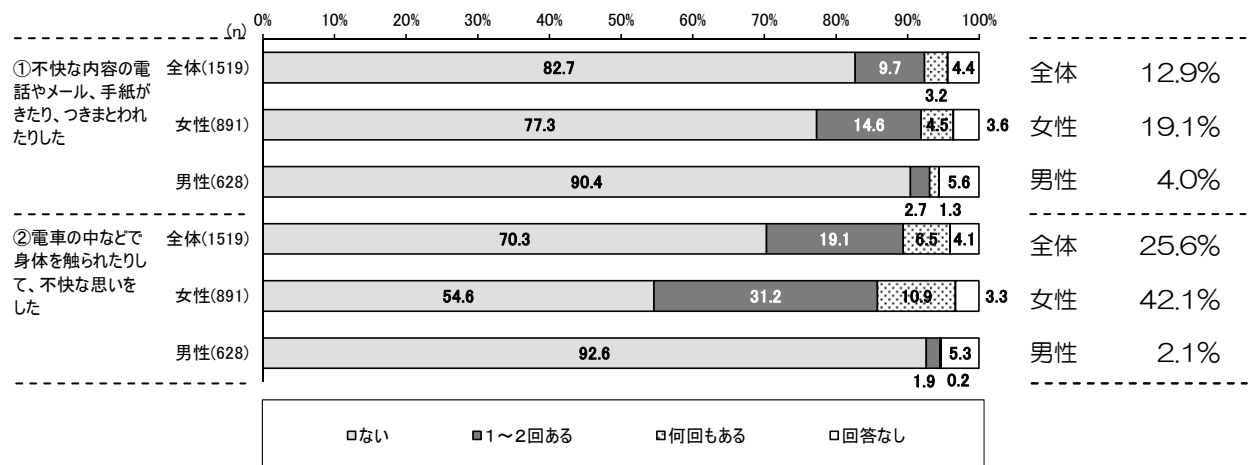
(2) セクシュアル・ハラスメントについて

＞「1～2回ある」
または「何回もある」

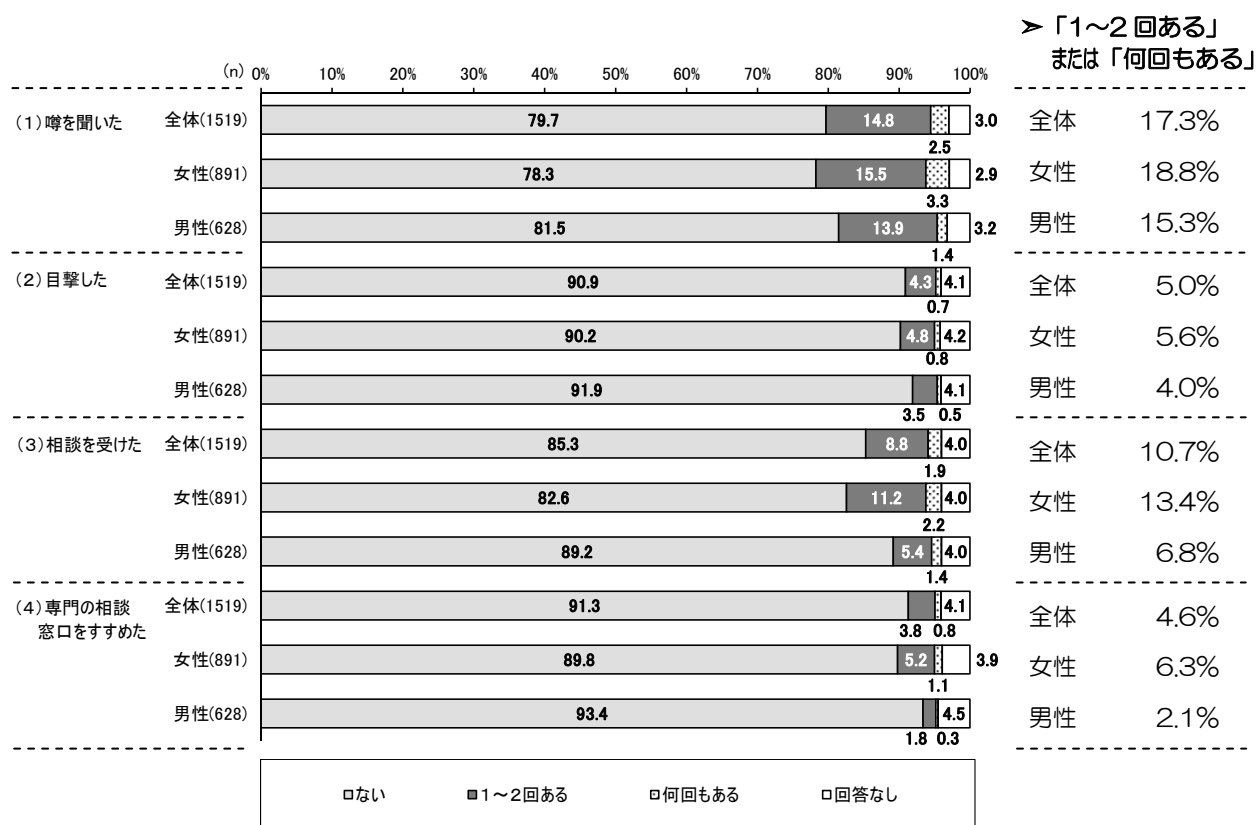


(3) ストーカー、痴漢行為について

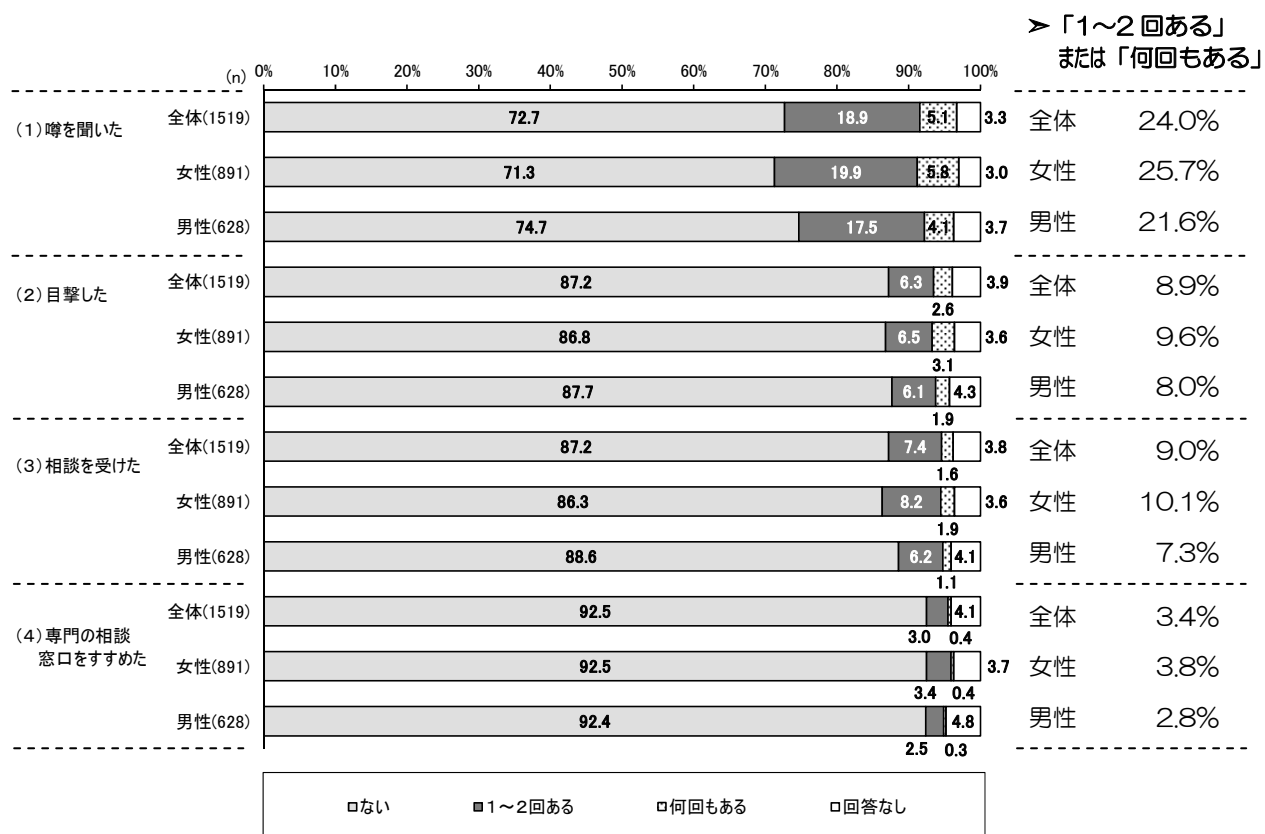
＞「1～2回ある」
または「何回もある」



問 2 1 あなたは、配偶者や交際相手からの暴力について、職場や学校、地域などで目撃したり相談を受けたりしたことがありますか。



問 2 2 あなたは、セクシュアル・ハラスメントについて、職場や学校、地域などで目撃したり相談を受けたりしたことがありますか。



問 2 3 もし、あなたが配偶者や交際相手からの暴力やセクシュアル・ハラスメントの被害を受けた場合、どこに相談しますか。

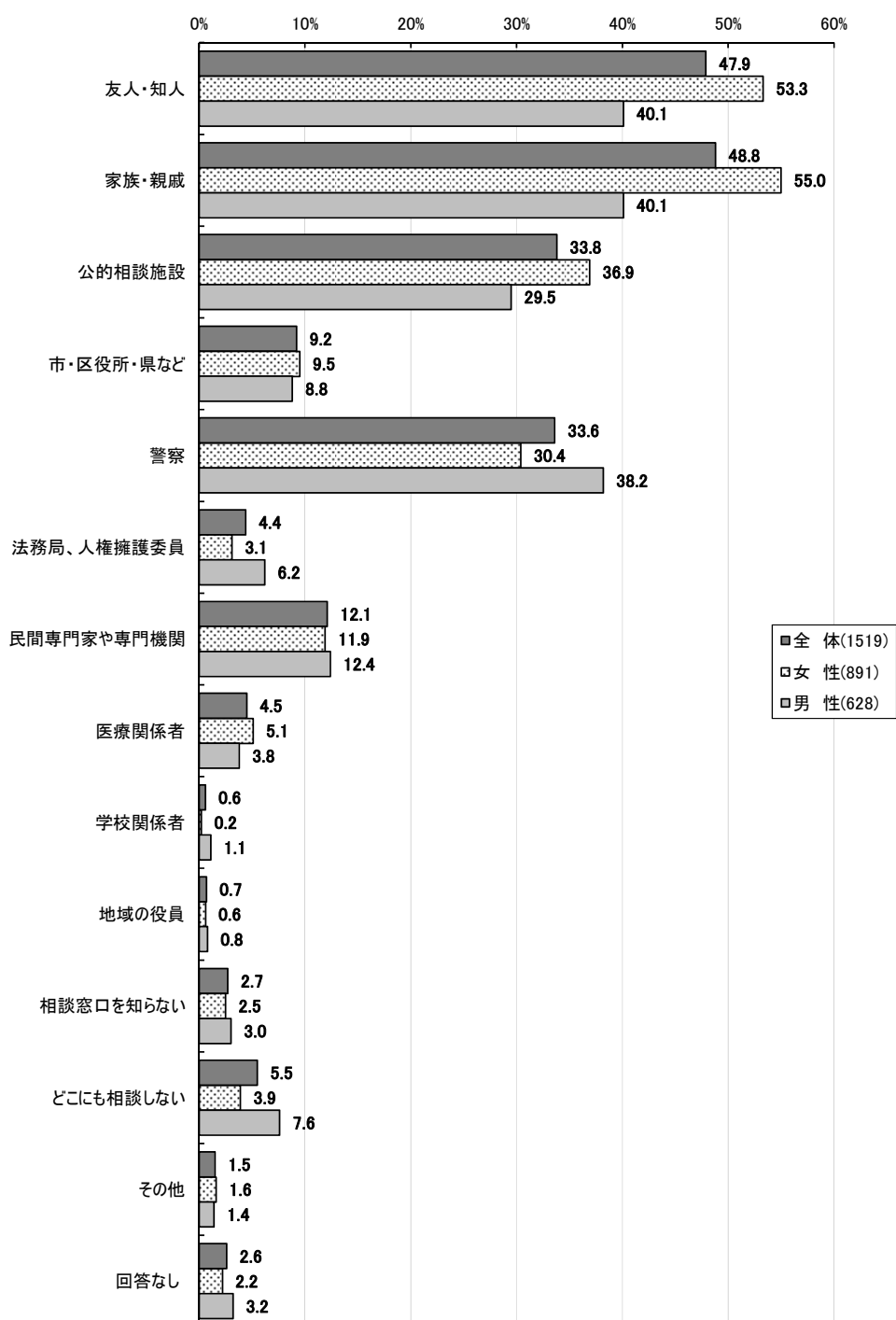
● 女性（上位3つ）

- 「家族・親戚」 55.0%
- 「友人・知人」 53.3%
- 「公的相談施設」 36.9%

● 男性（上位3つ）

※1・2位は同率

- 「友人・知人」 40.1%
- 「家族・親戚」 40.1%
- 「警察」 38.2%



問 2 4 次のうち、あなたが知っている言葉はどれですか。

(1) ドメスティック・バイオレンス

➤「言葉とその内容も知っている」

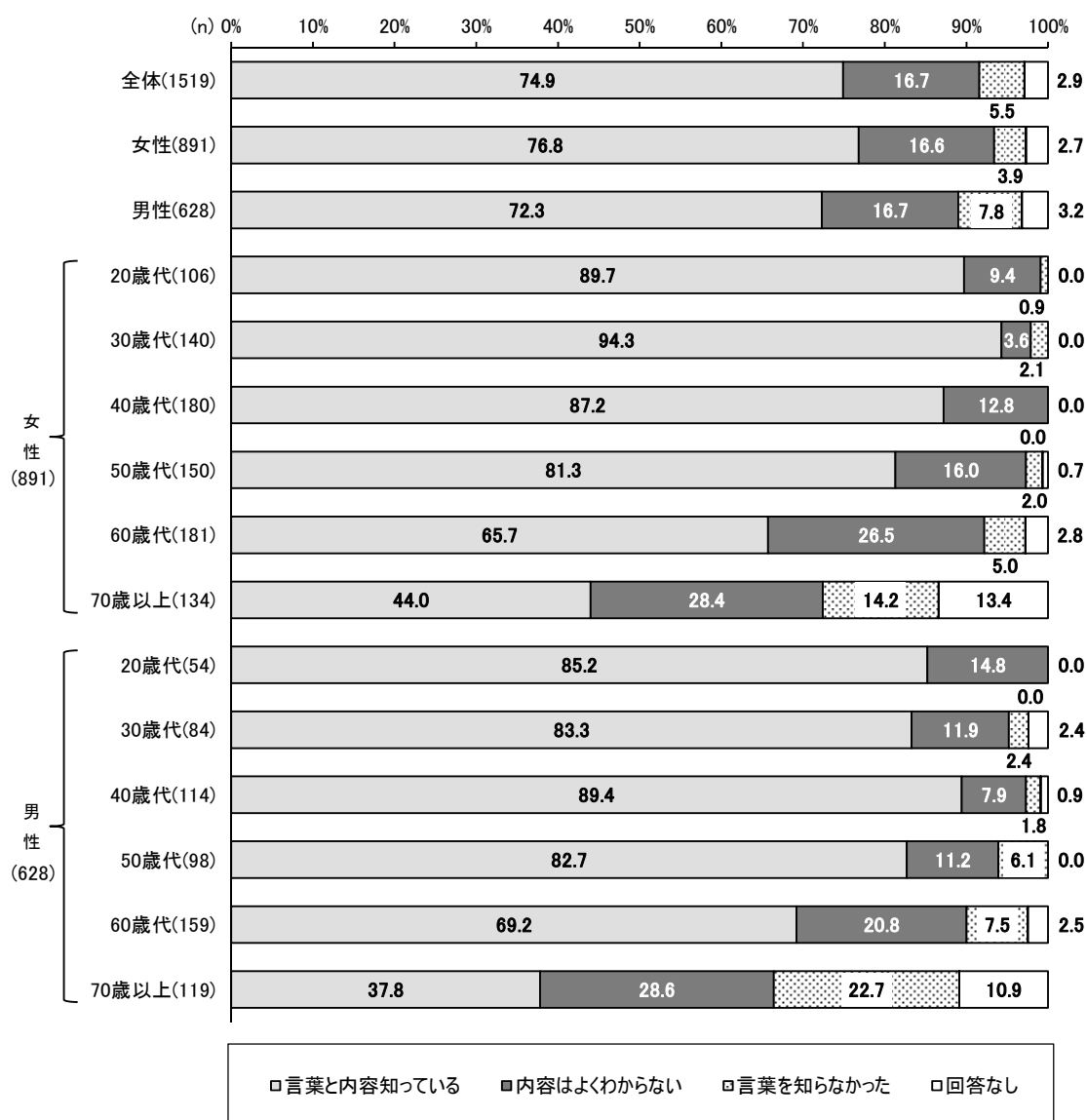
全体 74.9% (女性 76.8% 男性 72.3%)

➤「言葉は知っているが、内容はよくわからない」

全体 16.7% (女性 16.6% 男性 16.7%)

➤「言葉を知らなかった」

全体 5.5% (女性 3.9% 男性 7.8%)



(2) デートDV

➤「言葉とその内容も知っている」

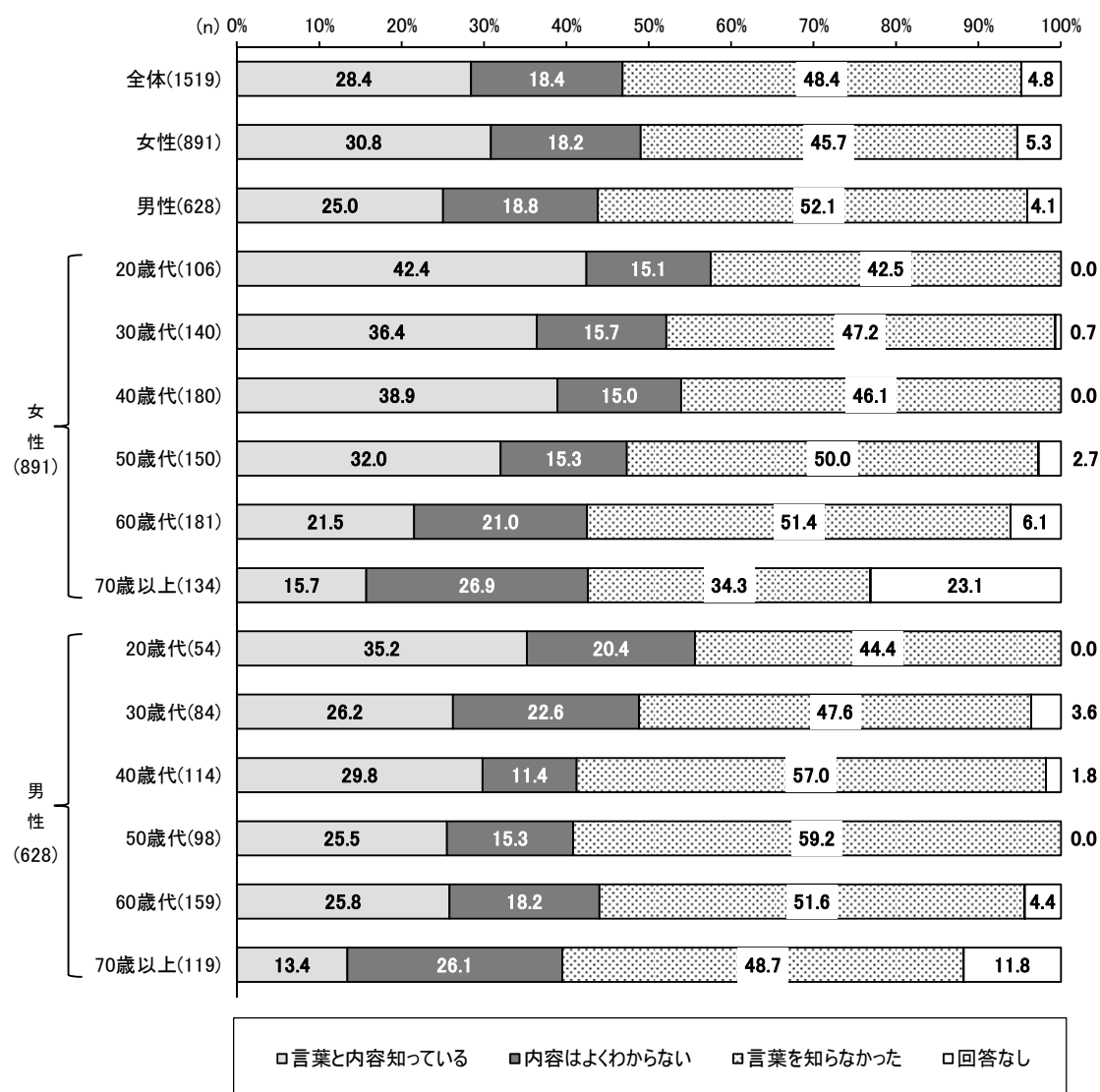
全体 28.4% (女性 30.8% 男性 25.0%)

➤「言葉は知っているが、内容はよくわからない」

全体 18.4% (女性 18.2% 男性 18.8%)

➤「言葉を知らなかった」

全体 48.4% (女性 45.7% 男性 52.1%)



(3) セクシュアル・ハラスメント

➤「言葉とその内容も知っている」

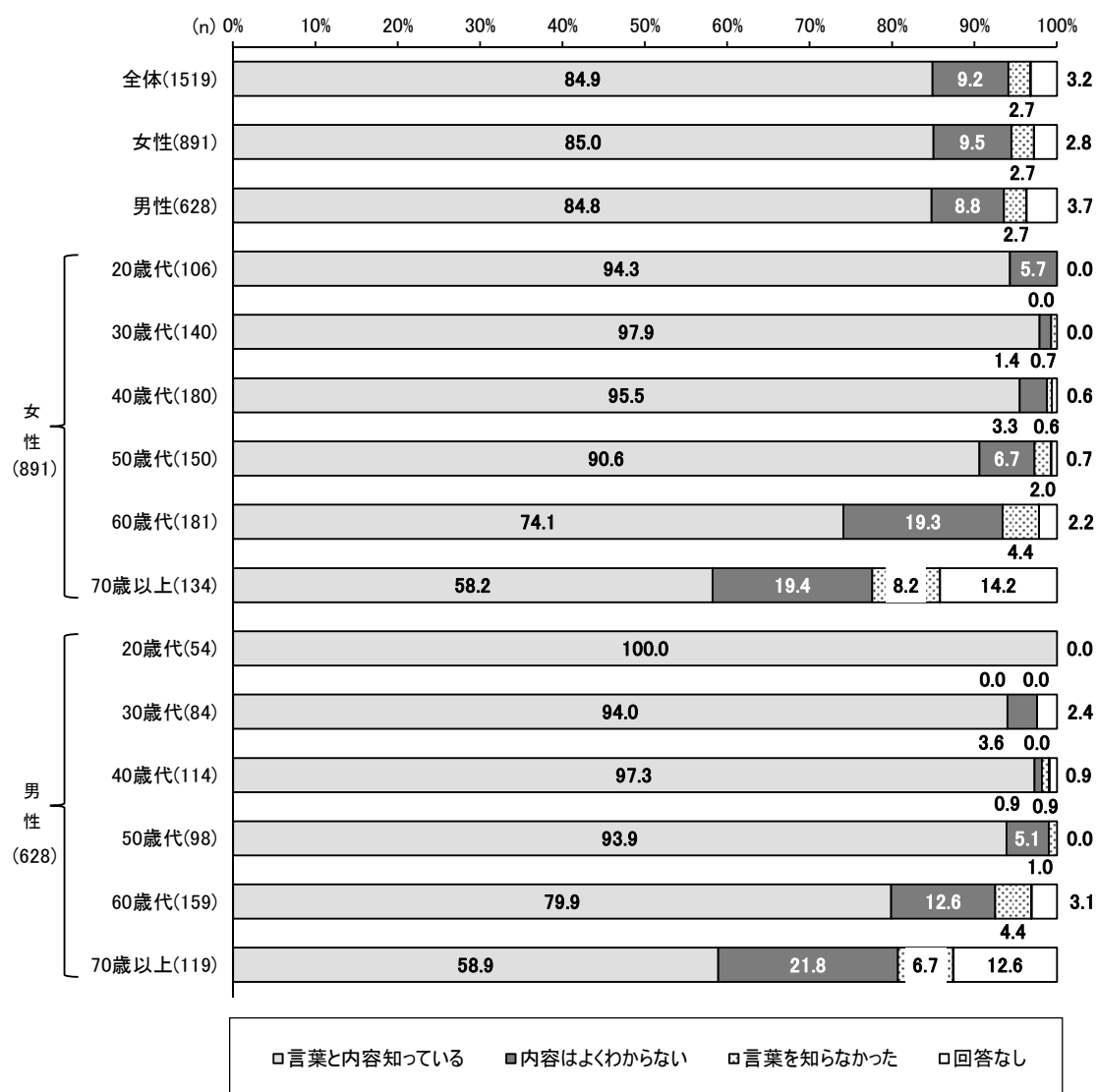
全体 84.9% (女性 85.0% 男性 84.8%)

➤「言葉は知っているが、内容はよくわからない」

全体 9.2% (女性 9.5% 男性 8.8%)

➤「言葉を知らなかった」

全体 2.7% (女性 2.7% 男性 2.7%)



(4) ストーカー

➤「言葉とその内容も知っている」

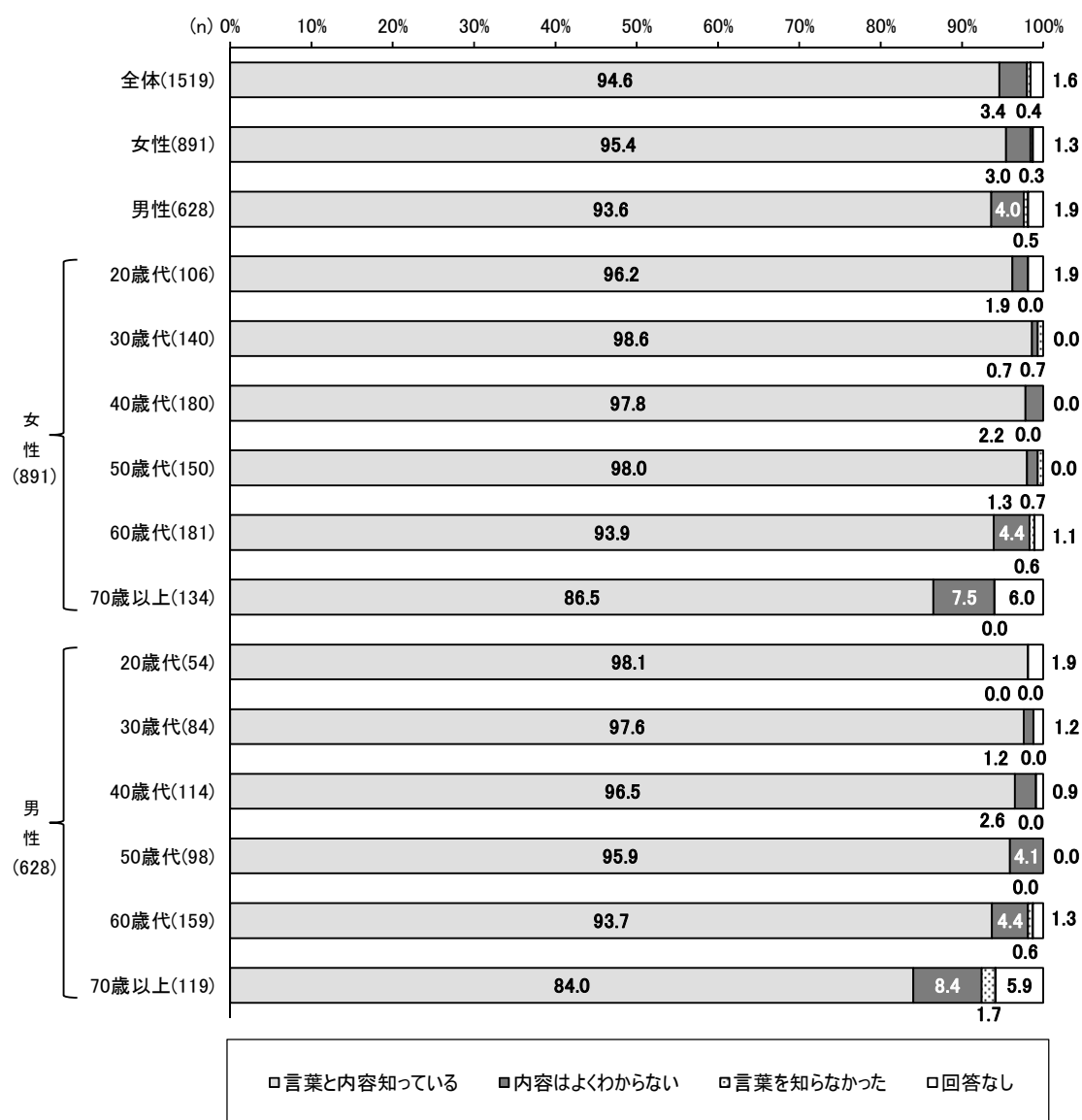
全体 94.6% (女性 95.4% 男性 93.6%)

➤「言葉は知っているが、内容はよくわからない」

全体 3.4% (女性 3.0% 男性 4.0%)

➤「言葉を知らなかった」

全体 0.4% (女性 0.3% 男性 0.5%)



(5) セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ

➤「言葉とその内容も知っている」

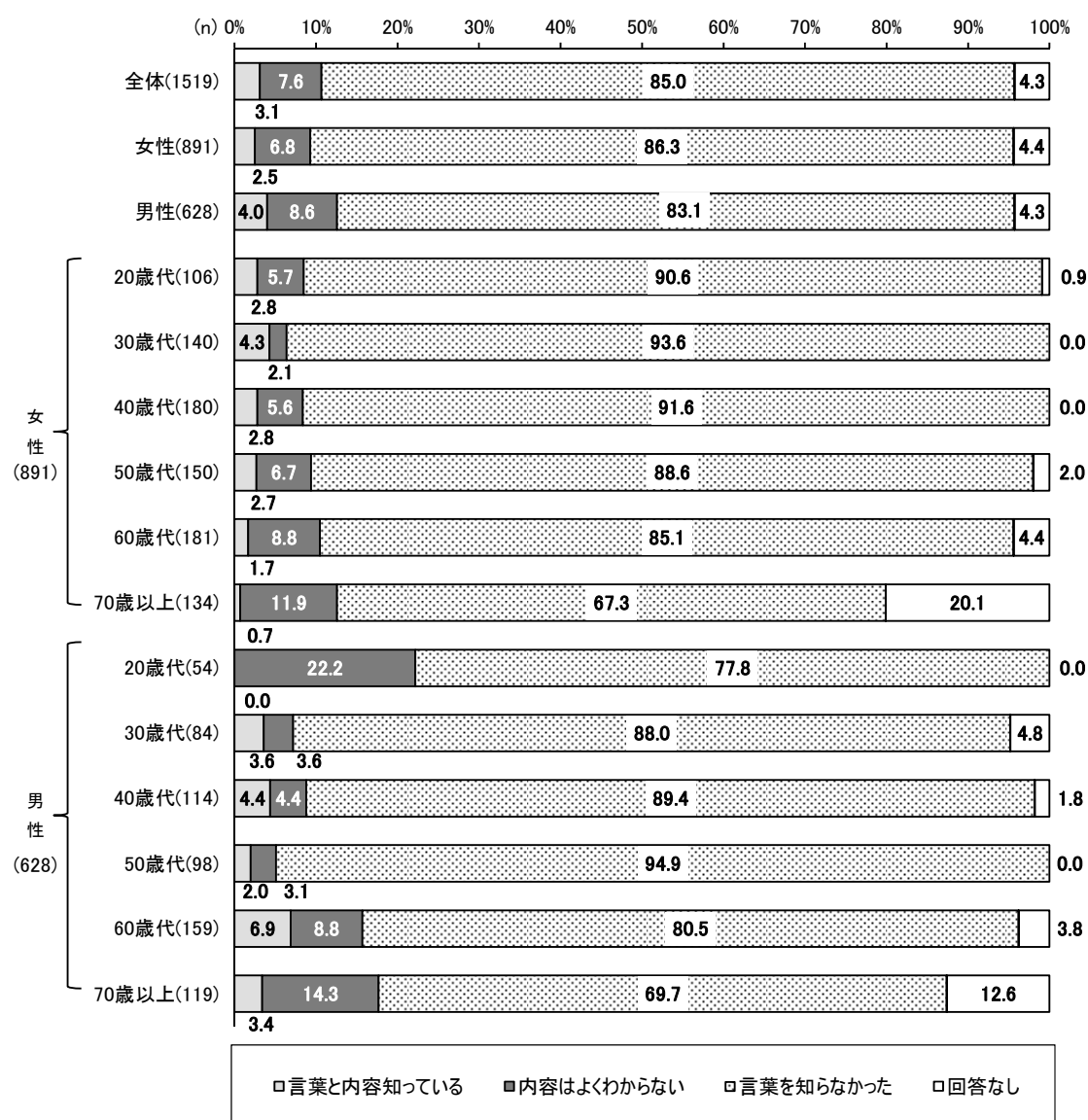
全体 3.1% (女性 2.5% 男性 4.0%)

➤「言葉は知っているが、内容はよくわからない」

全体 7.6% (女性 6.8% 男性 8.6%)

➤「言葉を知らなかった」

全体 85.0% (女性 86.3% 男性 83.1%)



(6) セクシュアル・マイノリティ

➤「言葉とその内容も知っている」

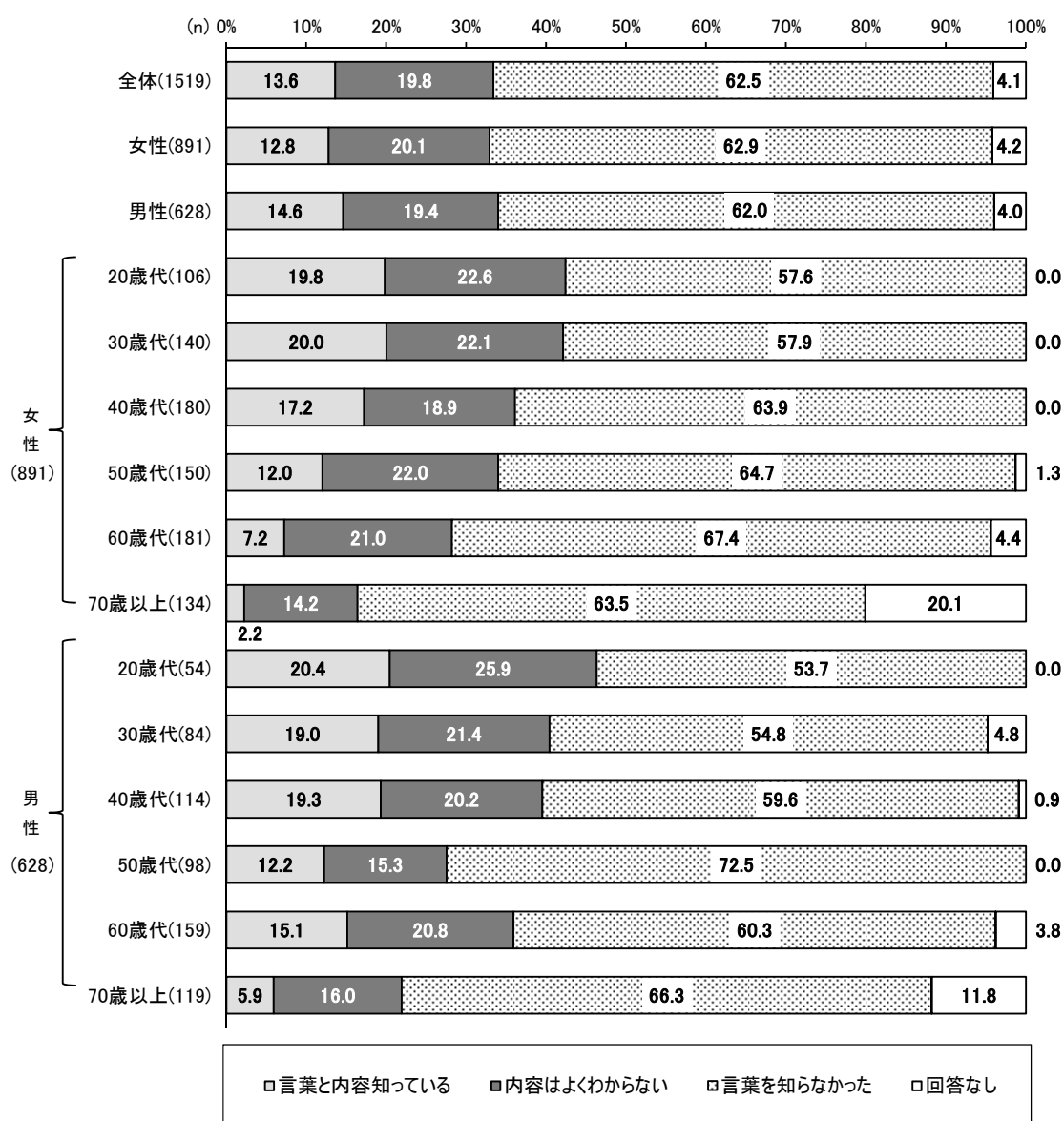
全体 13.6% (女性 12.8% 男性 14.6%)

➤「言葉は知っているが、内容はよくわからない」

全体 19.8% (女性 20.1% 男性 19.4%)

➤「言葉を知らなかった」

全体 62.5% (女性 62.9% 男性 62.0%)



名古屋市から

男女平等参画に関するアンケート ご協力をお願い

名古屋市では、女性も男性も共に性別にかかわらず個性と能力を発揮し、あらゆる分野に参画していく男女共同参画社会の実現に向けた取組を進めています。その一環として、今回、市民の皆さんにご意見と現状をおたずねし、今後の男女平等参画に関する施策の基礎資料とさせていただきたいと考えております。

ご多忙の折、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、お答えいただいた方の個人の情報が漏れたり、調査の目的外に利用することは一切ございません。

- 調査の目的 名古屋市における男女平等参画に関する施策決定の参考及びそれに関する学術的研究
- 調査対象 名古屋市にお住まいの20歳以上の男女（住民基本台帳から無作為抽出）
- 調査方式 無記名方式
- 質問項目数 24問

みんなが暮らしやすい
社会について考えています。



＜記入上のお願い＞

- ※ この調査票は、封筒の宛名の方がご記入ください。
- ※ 回答は、特に指定がない場合は、該当する数字を「○」で囲んでください。
- ※ お答えで「その他」を選んだ場合は、（ ）の中に、具体的に記入してください。
- ※ ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、

平成26年9月19日（金）までに 郵便ポストに入れてください。



あなたのご意見を
市政に活かします!!

＜アンケートに関するお問い合わせ先＞

名古屋市総務局総合調整部
男女平等参画推進室（担当：棟方・加藤）
〒460-8508
名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電話：052-972-2234
FAX：052-972-4112

I 最初に、男女平等意識や家族等についておたずねします。

問1 あなたは、次にあげる項目で、男女の地位は平等になっていると思いますか。以下の（１）～（８）について、もっともあてはまると思う番号に○をつけてください。

【それぞれの項目で１つだけに○】

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
（１）家庭生活	(12.9%) 196人	(39.5%) 600人	(30.5%) 463人	(9.1%) 138人	(1.8%) 28人	(4.9%) 74人	(1.3%) 20人
（２）職場	(23.7%) 360人	(38.5%) 586人	(19.5%) 296人	(6.3%) 95人	(1.7%) 26人	(8.0%) 121人	(2.3%) 35人
（３）学校教育の場	(3.2%) 48人	(11.8%) 179人	(57.3%) 872人	(4.1%) 62人	(0.9%) 13人	(20.1%) 305人	(2.6%) 40人
（４）地域活動の場	(5.6%) 85人	(27.1%) 411人	(38.3%) 582人	(9.3%) 142人	(1.3%) 19人	(16.3%) 248人	(2.1%) 32人
（５）政治の場	(39.4%) 598人	(43.3%) 658人	(7.2%) 110人	(1.8%) 27人	(0.3%) 5人	(6.5%) 98人	(1.5%) 23人
（６）法律や制度の上	(14.9%) 226人	(31.6%) 481人	(31.6%) 480人	(6.3%) 95人	(2.4%) 37人	(11.2%) 170人	(2.0%) 30人
（７）社会通念・慣習・しきたりなど	(28.8%) 438人	(47.7%) 725人	(11.7%) 177人	(2.8%) 42人	(0.8%) 12人	(6.8%) 103人	(1.4%) 22人
（８）社会全体	(15.6%) 237人	(57.5%) 875人	(14.0%) 213人	(5.1%) 77人	(0.7%) 10人	(5.7%) 86人	(1.4%) 21人

問2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、あなたのご意見にもっとも近いものはどれでしょうか。 【1つだけに○】

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1 賛成 (6.6%) 101 人 | 2 どちらかといえば賛成 (39.4%) 597 人 |
| 3 どちらかといえば反対 (26.1%) 397 人 | 4 反対 (15.9%) 241 人 |
| 5 わからない (11.0%) 169 人 | 無回答 (0.9%) 14 人 |

問3 選択的夫婦別氏制(希望する夫婦が別々の姓を名乗ることができる制度)について、あなたは、この制度を認めたほうがよいと思いますか。それとも認めないほうがよいと思いますか。 【1つだけに○】

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1 認めたほうがよい (31.5%) 479 人 | 2 認めないほうがよい (34.9%) 530 人 |
| 3 どちらともいえない (32.9%) 499 人 | 無回答 (0.7%) 11 人 |

Ⅱ 次に、地域での活動についておたずねします。

問4 地域の方との関わりについてお聞かせ下さい。 【1つだけに○】

- | |
|---|
| 1 地域での活動を通じて、地域の方とは積極的な関わりを持っている (13.4%) 203 人 |
| 2 地域の清掃、ゴミの分別や防犯活動など決まりごとのみ参加している (38.1%) 579 人 |
| 3 あいさつする程度で、ほとんど付き合いがない (42.0%) 639 人 |
| 4 全く付き合いがない (5.4%) 82 人 |
| 無回答 (1.1%) 16 人 |

問5 現在も含めて今までに、あなたは地域でどのような活動に参加しましたか。 【あてはまる番号すべてに○】

- | | |
|------------------------------------|----------------------------|
| 1 P T A や子ども会 (39.2%) 596 人 | 2 女性会などの地域女性団体 (5.1%) 78 人 |
| 3 老人クラブや高齢者グループ (4.9%) 75 人 | 4 町内会・自治会 (51.1%) 776 人 |
| 5 福祉・子育て支援などのボランティア活動 (6.9%) 105 人 | 6 消費や環境などの市民活動 (4.5%) 68 人 |
| 7 教養・趣味・スポーツのサークル (20.1%) 305 人 | 8 地域における防災活動 (15.6%) 237 人 |
| 9 いずれも参加したことがない (27.5%) 417 人 | 10 その他 (2.8%) 42 人 |
| 無回答 (1.0%) 15 人 | |



問6 今後あるいは引き続き、あなたが参加してみたい地域での活動は何ですか。

【あてはまる番号すべてに○】

- | | |
|------------------------------------|----------------------------|
| 1 PTAや子ども会 (9.8%) 149人 | 2 女性会などの地域女性団体 (4.1%) 62人 |
| 3 老人クラブや高齢者グループ (9.8%) 149人 | 4 町内会・自治会 (21.6%) 328人 |
| 5 福祉・子育て支援などのボランティア活動 (13.8%) 210人 | 6 消費や環境などの市民活動 (8.5%) 129人 |
| 7 教養・趣味・スポーツのサークル (39.6%) 601人 | 8 地域における防災活動 (20.4%) 310人 |
| 9 いずれも参加したいとは思わない (24.3%) 369人 | 10 その他 (2.0%) 30人 |
| 無回答 (2.5%) 38人 | |

問7 「育児、介護などの家庭や地域で担われている役割は社会的にも重要であるため、社会全体で評価していこう」という考え方がありますが、あなたは具体的にどのような形で評価することが必要だと思いますか。

(1) 家庭での育児 【1つだけに○】

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| 1 手当の支給や税制上の優遇などで経済的に評価する | (64.8%) 985人 |
| 2 表彰などで社会的に評価する | (4.3%) 66人 |
| 3 この役割について経済的・社会的に評価する必要はない | (11.4%) 173人 |
| 4 その他 | (2.2%) 33人 |
| 5 わからない | (15.9%) 241人 |
| 無回答 | (1.4%) 21人 |

(2) 家庭での介護 【1つだけに○】

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1 手当の支給や税制上の優遇などで経済的に評価する | (74.2%) 1,126人 |
| 2 表彰などで社会的に評価する | (2.4%) 37人 |
| 3 この役割について経済的・社会的に評価する必要はない | (7.0%) 107人 |
| 4 その他 | (2.6%) 39人 |
| 5 わからない | (12.6%) 192人 |
| 無回答 | (1.2%) 18人 |

(3) 地域における福祉活動 【1つだけに○】

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| 1 手当の支給や税制上の優遇などで経済的に評価する | (37.7%) 573人 |
| 2 表彰などで社会的に評価する | (34.7%) 527人 |
| 3 この役割について経済的・社会的に評価する必要はない | (8.9%) 135人 |
| 4 その他 | (1.4%) 22人 |
| 5 わからない | (16.1%) 244人 |
| 無回答 | (1.2%) 18人 |



問8 あなたは、地域における子育て支援として、どのようなことをしたらよいと思いますか。 【あてはまる番号すべてに○】

- | | | |
|---|----------------------------------|-----------------|
| 1 | 地域の親子に出会った時には気軽に声をかける | (58.0%) 881 人 |
| 2 | 子どもがよくないことや危険なことをしているのを見かけたら注意する | (72.7%) 1,105 人 |
| 3 | 子どもを対象とした遊びや活動などの企画や実施にかかわる | (23.4%) 355 人 |
| 4 | 育児などで困っている人の相談にのる | (40.2%) 610 人 |
| 5 | 親の緊急の用事などの時に、一時的に子どもをみる | (34.5%) 524 人 |
| 6 | 特にする必要はない | (2.8%) 43 人 |
| 7 | その他 | (2.6%) 40 人 |
| | 無回答 | (1.8%) 28 人 |

問9 地域の防災についておたずねします。災害時の避難所運営について、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。 【あてはまる番号すべてに○】

- | | | |
|---|--------------------------------------|-----------------|
| 1 | 避難所の運営、運営方針の決定などにおいて、女性と男性がともに参加すること | (65.4%) 994 人 |
| 2 | 男女別トイレや洗濯干場、授乳室の設置など、避難者のニーズに配慮すること | (76.8%) 1,167 人 |
| 3 | 女性は炊き出し、男性は力仕事といった固定的な性別役割分担意識の解消 | (27.9%) 424 人 |
| 4 | 女性および男性が抱えた悩みや避難所生活上の問題を受け付ける窓口の設置 | (55.0%) 836 人 |
| 5 | その他 | (3.3%) 50 人 |
| | 無回答 | (1.7%) 26 人 |

Ⅲ 次に、労働についておたずねします。

問10 一般的に、女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。 【1つだけに○】

- | | | |
|---|-----------------------------------|---------------|
| 1 | 女性は職業を持たないほうがよい | (0.4%) 6 人 |
| 2 | 結婚するまでは、職業を持つほうがよい | (3.6%) 55 人 |
| 3 | 子どもができるまでは、職業を持つほうがよい | (6.9%) 105 人 |
| 4 | 子どもができて、ずっと職業を持ちつづけるほうがよい | (37.9%) 576 人 |
| 5 | 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい | (38.8%) 589 人 |
| 6 | その他 | (8.6%) 130 人 |
| | 無回答 | (3.8%) 58 人 |



問11 1日のうちであなたが仕事や家事、子育て、介護に要する時間は、平日（働いている人は勤務日）どのくらいですか。

（1）仕事（在宅就労を含む。また通勤時間を含む） 【1つだけに○】

1 なし (24.5%) 372人	2 3時間未満 (7.2%) 110人	3 3時間～5時間未満 (9.9%) 150人
4 5時間～7時間未満 (9.2%) 139人	5 7時間～9時間未満 (19.9%) 302人	6 9時間～11時間未満 (15.5%) 236人
7 11時間以上 (10.5%) 160人	無回答 (3.3%) 50人	

（2）家事全般（子育て・介護を含む） 【1つだけに○】

1 なし (19.0%) 288人	2 30分未満 (10.1%) 154人	3 30分～1時間未満 (11.1%) 169人
4 1時間～2時間未満 (13.0%) 198人	5 2時間～3時間未満 (12.9%) 196人	6 3時間～4時間未満 (9.7%) 147人
7 4時間～5時間未満 (7.6%) 115人	8 5時間以上 (13.8%) 210人	無回答 (2.8%) 42人

家事全般のうち、子育て・介護に要する時間についておたずねします。

（2）－1 子育てに要する時間 【1つだけに○】

1 子育て中ではない (68.1%) 1,034人	2 15分未満 (1.7%) 26人	3 15分～30分未満 (2.3%) 35人
4 30分～1時間未満 (3.4%) 52人	5 1時間～2時間未満 (5.9%) 90人	6 2時間～3時間未満 (3.2%) 49人
7 3時間～4時間未満 (2.0%) 30人	8 4時間以上 (8.3%) 126人	無回答 (5.1%) 77人

（2）－2 介護に要する時間 【1つだけに○】

1 介護中ではない (85.6%) 1,300人	2 15分未満 (1.0%) 15人	3 15分～30分未満 (0.9%) 13人
4 30分～1時間未満 (1.6%) 24人	5 1時間～2時間未満 (1.8%) 28人	6 2時間～3時間未満 (0.7%) 11人
7 3時間～4時間未満 (1.2%) 18人	8 4時間以上 (1.5%) 23人	無回答 (5.7%) 87人

問12 あなたの仕事についておたずねします。

【1つだけに○】

1 現在、収入のある仕事についている (65.5%) 996人	⇒ 問13へ (6ページ)	
2 かつて収入のある仕事についていたことがある (23.6%) 358人	⇒	【1つだけに○】 1 すぐにも仕事をしたい (10.2%) 40人 2 将来は仕事をしたい (19.8%) 78人 3 仕事をするつもりはない (52.9%) 208人 4 その他 (10.2%) 40人 無回答 (6.9%) 27人 ⇒ 問19へ (7ページ)
3 収入のある仕事についていたことがない (2.3%) 35人		

『現在、収入のある仕事についている方』におたずねします。

問13 仕事と家庭生活のどちらに重点を置くかについて、あなたの理想と現実について、お答えください。

【それぞれの項目で1つだけに○】

< 理 想 >		< 現 実 >	
1	仕事中心 (4.5%) 45 人	1	仕事中心 (25.4%) 253 人
2	どちらかといえば仕事中心 (12.7%) 126 人	2	どちらかといえば仕事中心 (30.6%) 304 人
3	仕事と家庭生活ほぼ半々 (48.0%) 478 人	3	仕事と家庭生活ほぼ半々 (22.9%) 228 人
4	どちらかといえば家庭生中心 (22.5%) 224 人	4	どちらかといえば家庭生中心 (11.3%) 113 人
5	家庭生中心 (8.3%) 83 人	5	家庭生中心 (4.2%) 42 人
	無回答 (4.0%) 40 人		無回答 (5.6%) 56 人

問14 あなたの仕事と家庭生活の関係についておたずねします。もっともあてはまると思う番号に○をつけてください。

(1) 仕事と家庭生活のバランスがうまくとれている。 【1つだけに○】

1	そう思う (26.6%) 265 人	2	ややそう思う (36.1%) 359 人
3	あまりそう思わない (23.9%) 238 人	4	そう思わない (10.1%) 101 人
	無回答 (3.3%) 33 人		

(2) 仕事と家庭生活の両立で、毎日があわただしい。 【1つだけに○】

1	そう思う (30.3%) 302 人	2	ややそう思う (30.3%) 302 人
3	あまりそう思わない (23.4%) 233 人	4	そう思わない (12.3%) 122 人
	無回答 (3.7%) 37 人		

問15 あなたの職場に下記の制度がありますか。また制度がある場合、利用しやすいですか。各制度の有無と利用のしやすさについて、あてはまると思う番号に○をつけてください。 【それぞれの項目で1つだけに○】

	【制度の有無】			制度がある場合 右の項目へ進む	【利用のしやすさ】			
	あ る	な し	無 回 答		利用 し や す い	ど ち ら と も い え な い	利用 し に く い	無 回 答
(1) 育児休業制度	(46.7%) 465 人	(44.3%) 441 人	(9.0%) 90 人	⇒	(39.1%) 182 人	(33.8%) 157 人	(25.2%) 117 人	(1.9%) 9 人
(2) 介護休業制度	(35.4%) 353 人	(53.7%) 534 人	(10.9%) 109 人	⇒	(21.5%) 76 人	(46.5%) 164 人	(30.6%) 108 人	(1.4%) 5 人

問16 あなたは育児休業を取得したことがありますか。 【1つだけに○】

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1 取得したことがある (5.4%) 54人 | 2 現在、取得中である (0.8%) 8人 |
| 3 取得する予定がある (0.4%) 4人 | 4 取得したことがない (89.9%) 895人 |
| 無回答 (3.5%) 35人 | |

問17 あなたは介護休業を取得したことがありますか。 【1つだけに○】

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1 取得したことがある (1.4%) 14人 | 2 現在、取得中である (0.0%) 0人 |
| 3 取得する予定がある (0.1%) 1人 | 4 取得したことがない (95.3%) 949人 |
| 無回答 (3.2%) 32人 | |

問18 あなたの職場では、採用時や仕事の内容、待遇面で、女性は男性に比べ不当な扱いをされていると思いますか。 【1つだけに○】

- | | |
|--------------------------------|----------|
| 1 不当な扱いをされていると思う (14.8%) 147人 | ⇒ 問18-1へ |
| 2 別にそのようなことはないと思う (75.7%) 754人 | ⇒ 問19へ |
| 無回答 (9.5%) 95人 | |

問18-1 『問18において1と答えた方』におたずねします。

それは具体的にどのようなことですか。 【○は2つまで】

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 募集・採用差別 (17.7%) 26人 | 2 賃金差別 (37.4%) 55人 |
| 3 配置上の差別 (26.5%) 39人 | 4 昇進・昇格差別 (41.5%) 61人 |
| 5 教育・訓練機会上の差別 (5.4%) 8人 | 6 定年・退職上の差別 (4.1%) 6人 |
| 7 その他 (6.8%) 10人 | 無回答 (10.9%) 16人 |

『すべての方』におたずねします。

問19 あなたは生活全般に満足していますか。それとも不満ですか。 【1つだけに○】

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1 とても満足 (6.0%) 91人 | 2 満足 (24.3%) 369人 |
| 3 どちらかといえば満足 (42.5%) 646人 | 4 どちらかといえば不満 (18.5%) 281人 |
| 5 不満 (5.1%) 77人 | 6 とても不満 (2.0%) 30人 |
| 無回答 (1.6%) 25人 | |



Ⅳ 次に、人権に関わる問題についておたずねします。

問20 あなたは、次のような被害を経験したことがありますか。以下の(1)～(3)について、あてはまると思う番号に○をつけてください。

【それぞれの項目で1つだけに○】

(1) 配偶者や交際相手からの暴力についておたずねします。	ない	1～2回ある	何回もある	無回答
① バカなどと、傷つく呼び方をされた	(70.2%) 1,066人	(14.3%) 217人	(12.2%) 186人	(3.3%) 50人
② 交友関係や、電話やメールを細かくチェックされた	(87.0%) 1,322人	(6.2%) 94人	(3.0%) 46人	(3.8%) 57人
③ 殴るふりや、けるふりをされた	(82.3%) 1,249人	(9.5%) 145人	(4.3%) 65人	(3.9%) 60人
④ 殴られたり、けられたりした	(83.5%) 1,268人	(8.7%) 132人	(3.8%) 58人	(4.0%) 61人
⑤ 避妊に協力してもらえなかった	(87.1%) 1,325人	(3.8%) 57人	(3.2%) 48人	(5.9%) 89人
⑥ 生活費を渡されなかったり、借金や浪費をされた	(85.2%) 1,295人	(5.3%) 80人	(5.4%) 82人	(4.1%) 62人
⑦ 暴力の被害の場面を子どもに目撃された	(89.4%) 1,356人	(4.1%) 63人	(1.8%) 28人	(4.7%) 72人

(2) セクシュアル・ハラスメントについておたずねします。

① 職場や学校、地域などでの関係を利用して、身体をさわられた	(85.0%) 1,290人	(8.1%) 123人	(2.6%) 40人	(4.3%) 66人
② 職場や学校、地域などでの関係を利用して、性的関係を迫られた	(92.0%) 1,398人	(2.7%) 41人	(0.7%) 10人	(4.6%) 70人
③ 性的な言葉や態度などによって、不快な思いをした	(80.0%) 1,216人	(10.9%) 165人	(4.7%) 71人	(4.4%) 67人

(3) ストーカー、痴漢行為についておたずねします。

① 不快な内容の電話やメール、手紙がきたり、つきまとわれたりした	(82.7%) 1,257人	(9.7%) 147人	(3.2%) 48人	(4.4%) 67人
② 電車の中などで身体を触られたりして、不快な思いをした	(70.3%) 1,069人	(19.1%) 290人	(6.5%) 98人	(4.1%) 62人

問21 あなたは、配偶者や交際相手からの暴力について、職場や学校、地域などで目撃したり相談を受けたりしたことがありますか。

【それぞれの項目で1つだけに○】

	ない	1～2 回ある	何回も ある	無回答
(1) 噂を聞いた	(79.7%) 1,210 人	(14.8%) 225 人	(2.5%) 38 人	(3.0%) 46 人
(2) 目撃した	(90.9%) 1,381 人	(4.3%) 65 人	(0.7%) 10 人	(4.1%) 63 人
(3) 相談を受けた	(85.3%) 1,295 人	(8.8%) 134 人	(1.9%) 29 人	(4.0%) 61 人
(4) 専門の相談窓口をすすめた	(91.3%) 1,387 人	(3.8%) 57 人	(0.8%) 12 人	(4.1%) 63 人

問22 あなたは、セクシュアル・ハラスメントについて、職場や学校、地域などで目撃したり相談を受けたりしたことがありますか。

【それぞれの項目で1つだけに○】

	ない	1～2 回ある	何回も ある	無回答
(1) 噂を聞いた	(72.7%) 1,104 人	(18.9%) 287 人	(5.1%) 78 人	(3.3%) 50 人
(2) 目撃した	(87.2%) 1,324 人	(6.3%) 96 人	(2.6%) 40 人	(3.9%) 59 人
(3) 相談を受けた	(87.2%) 1,325 人	(7.4%) 112 人	(1.6%) 24 人	(3.8%) 58 人
(4) 専門の相談窓口をすすめた	(92.5%) 1,404 人	(3.0%) 46 人	(0.4%) 6 人	(4.1%) 63 人



問23 もし、あなたが配偶者や交際相手からの暴力やセクシュアル・ハラスメントの被害を受けた場合、どこに相談しますか。 【あてはまる番号すべてに○】

1	友人・知人	(47.9%) 727 人
2	家族・親戚	(48.8%) 742 人
3	公的相談施設（男女平等参画推進センター・配偶者暴力相談支援センターなど）	(33.8%) 514 人
4	上記3以外の公的機関（市・区役所、県など）	(9.2%) 140 人
5	警察	(33.6%) 511 人
6	法務局、人権擁護委員	(4.4%) 67 人
7	民間の専門家や専門機関（弁護士、カウンセラー、支援団体など）	(12.1%) 184 人
8	医療関係者（医師、看護師など）	(4.5%) 69 人
9	学校関係者（教員、スクールカウンセラーなど）	(0.6%) 9 人
10	地域の役員	(0.7%) 10 人
11	相談窓口を知らない	(2.7%) 41 人
12	どこ（だれ）にも相談しない	(5.5%) 83 人
13	その他	(1.5%) 23 人
	無回答	(2.6%) 40 人

問24 次のうち、あなたが知っている言葉はどれですか。
【それぞれの項目で1つだけに○】

	言葉と その内容も 知っている	言葉は 知っているが、 内容はよく わからない	言葉を 知らなかった	無回答
(1) ドメスティック・バイオレンス	(74.9%) 1,138 人	(16.7%) 253 人	(5.5%) 84 人	(2.9%) 44 人
(2) デートDV	(28.4%) 431 人	(18.4%) 280 人	(48.4%) 735 人	(4.8%) 73 人
(3) セクシュアル・ハラスメント	(84.9%) 1,290 人	(9.2%) 140 人	(2.7%) 41 人	(3.2%) 48 人
(4) ストーカー	(94.6%) 1,437 人	(3.4%) 52 人	(0.4%) 6 人	(1.6%) 24 人
(5) セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	(3.1%) 47 人	(7.6%) 115 人	(85.0%) 1,291 人	(4.3%) 66 人
(6) セクシュアル・マイノリティ	(13.6%) 206 人	(19.8%) 301 人	(62.5%) 950 人	(4.1%) 62 人

V 最後に、あなた自身のことについておたずねします。

F 1 性別 【1つだけに○】

1 女性 (58.7%)891人 2 男性 (41.3%)628人 3 その他 (0.0%) 0人

F 2 年齢（満年齢） 【1つだけに○】

1 20～29歳(10.5%)160人 2 30～39歳(14.7%)224人 3 40～49歳(19.4%)294人
4 50～59歳(16.3%)248人 5 60～69歳(22.4%)340人 6 70歳以上(16.7%)253人

F 3 あなたは結婚していますか。 【1つだけに○】

1 結婚している (70.8%)1,076人 2 結婚していないが、同棲している (1.2%) 18人
3 離別・死別した (11.3%)171人 4 結婚したことはない (16.6%)252人
無回答 (0.1%) 2人

**F 4 あなたと現在同居している家族の構成は、次のうちどれにあたりますか。
【1つだけに○】**

1 単身世帯（一人暮らし） (12.6%)192人 2 1世代世帯（夫婦だけ） (26.6%)404人
3 2世代世帯（親と子） (49.7%)754人 4 3世代世帯（親と子と孫） (6.3%) 96人
5 その他 (4.3%) 65人 無回答 (0.5%) 8人

F 5 現在のあなたの暮らしむきについておたずねします。もっともあてはまるものはどれでしょうか。 【1つだけに○】

1 たいへんゆとりがある (4.9%) 74人 2 ややゆとりがある (17.2%)261人
3 ふつう (48.2%)733人 4 ややくるしい (20.8%)316人
5 たいへんくるしい (8.6%)131人 無回答 (0.3%) 4人

**F 6 あなたの最終学歴をお知らせください。在学中・退学は卒業とみなしてください。
【1つだけに○】**

1 中学校（新制中学、高等小学校を含む） (9.0%)137人
2 高等学校（新制高校、旧制中学、高等女学校を含む） (34.1%)518人
3 専修学校、職業訓練校 (7.7%)117人
4 短期大学、新制高等専門学校 (12.8%)194人
5 大学（大学院、旧制女子専門学校、旧制高等専門学校を含む） (36.1%)548人
無回答 (0.3%) 5人

次ページへつづく



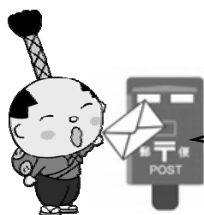
F7 あなたの主なお仕事についておたずねします。育児・介護休業中などの方もお答えください。 【1つだけに○】

自営業・ 家族従業	(1) 農林漁業	(0.2%) 3人	
	(2) 商工サービス業	(4.6%) 70人	
	(3) 自由業	(4.3%) 65人	
勤め人	(4) 経営・管理職	(4.3%) 65人	【1つだけに○】 1 常勤 (56.6%) 447人 ⇒ 2 非常勤 (30.7%) 242人 〔アルバイト パートなど〕 無回答 (12.7%) 100人
	(5) 専門・技術職	(14.7%) 223人	
	(6) 事務職	(12.6%) 191人	
	(7) 労務・技術職	(4.8%) 73人	
	(8) 販売・サービス職	(15.6%) 237人	
無職	(9) 学生	(2.3%) 35人	
	(10) 専業主婦・主夫	(19.9%) 304人	
	(11) その他の無職	(9.8%) 149人	
その他	(12) 具体的に ()	(3.1%) 47人	
無回答		(3.8%) 57人	

F8 あなたのお住まいの区はどこですか。 【1つだけに○】

1 千種区 (7.6%) 115人	2 東区 (3.0%) 46人	3 北区 (6.5%) 98人
4 西区 (6.4%) 97人	5 中村区 (6.1%) 92人	6 中区 (2.9%) 44人
7 昭和区 (5.0%) 76人	8 瑞穂区 (4.5%) 68人	9 熱田区 (3.0%) 46人
10 中川区 (9.0%) 137人	11 港区 (6.3%) 95人	12 南区 (6.2%) 94人
13 守山区 (7.4%) 113人	14 緑区 (10.7%) 163人	15 名東区 (7.7%) 117人
16 天白区 (6.8%) 104人	無回答 (0.9%) 14人	

[男女共同参画社会の形成に関し、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください]



ご協力いただき、ありがとうございました!!
返信用封筒に入れて、ご返送ください。

第8回男女平等参画基礎調査報告書（速報版）

平成 26 年 11 月

名古屋市総務局総合調整部男女平等参画推進室

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 1 号

電話 052-972-2234 F A X 052-972-4112

